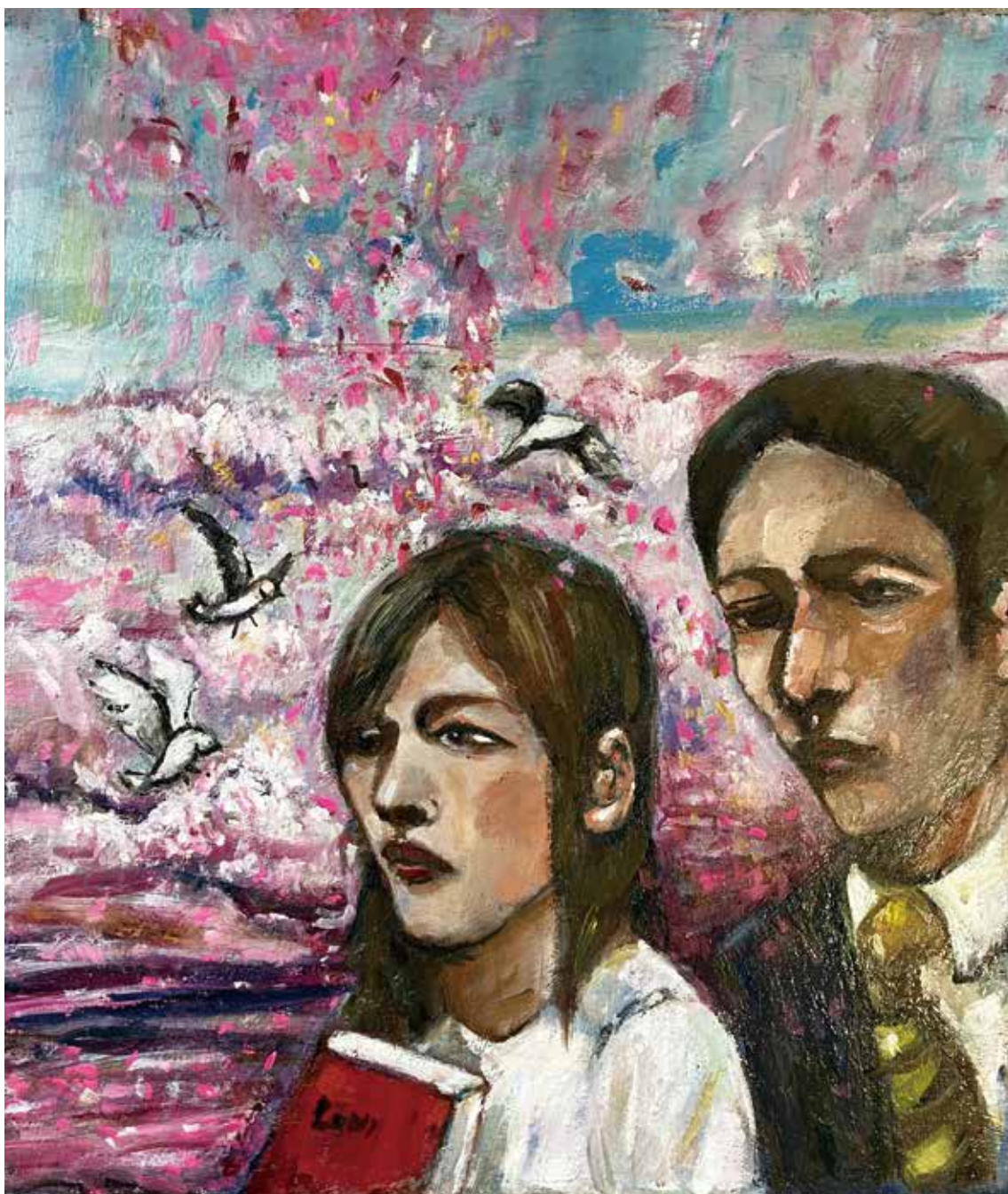


宮陵 Kyu-Ryo

2026 NO.75
(令和8)



「波に桜舞う」(絵 岸本 凌幾)

一般社団法人神奈川大学宮陵会

神奈川県立 神奈川大学 公認グッズ

新しい神大オリジナルグッズが発売されました。
 普段使いはもちろん、プレゼントにもGOOD！応援グッズとしてもご使用いただけます！
 この広告ページをお申込みにご利用いただけます。
 (各種公認グッズは大学より委託され、生協が販売しております。)



サイズ：W110cm×H40cm



サイズ：W85cm×H34cm



サイズ：W107cm×H20cm



注文 FAX 送信先

045-345-4867

価格はすべて税込みです

商品名	価格	数量
① スポーツタオル	1,700円	
② フェイスタオル	1,300円	
③ マフラータオル	1,100円	
④ タオル3点セット	3,800円	
⑤ KU 応援帽子	4,000円	

その他の公認グッズは専用WEBサイトに
 取り揃えております。
 ぜひご利用ください

<http://www.ku-coop.org/shopping/>



【お問い合わせ】

神奈川県立 神奈川大学生協同組合

〒221-0802 横浜市神奈川区六角橋4-7-3
 TEL：045-481-5688 担当：コサカ

【お届け先】

お名前	フリガナ												
お届け先	〒									都道 府県		区 市郡	
FAX番号													
ご連絡先													
お支払い方法	<input checked="" type="checkbox"/> 代金引換 (到着時払い) 別途代引き手数料(493円)がかかります												

日本の将来への思い



一般社団法人神奈川大学宮陵会 会長

うちだ せいぞう
内田 青蔵

1975 (昭和50)年工学部建築学科卒業

政治や経済に疎い私でも、一般社会では円安や新党の誕生などの政治絡みの情報が渦巻いていて、否が応でも日本という国について考えさせられる、今日、この頃である。

海外に出張した時に、欧米でドルやユーロに換金した時、円安による換金率の悪さやそれに伴う驚きやさみしさを味わう一方、アジア圏への出張の場合は、換金率の良さの恩恵を強く感じてきた記憶がある。それが、現在では過去のこととなり、国際社会の広がりの中でアジア各国の経済力が高まり、頻繁に円安の脅威を感じてしまいう日常生活となってしまう。

こうした社会情勢について、専門家たちの中には今後の日本が世界の中で生き残りができるといふか、岐路に立っているといふ、現在の国力を危機感をもって解説する方もいる。まさにわれわれは先の読めない不安定な世界の経済状況下にいるようなのだ。

こうした不安な状況を変え、るのは政治家たちの役割でもあるが、その政治家たちを選ぶのはわれわれ一般市民である。いわば、われわれ、個々

人がこの国をどうするかをきちんと思極め、その思いを託せる政治家を真摯に選ぶことが、より一層強く求められているのだ。

ところで、突然の新党の出現は、想像を超える出来事であった。しかもその名の「中道（中道改革連盟）」という言葉は聞いて思い出したのが、本学の建学の精神のひとつである「中正堅実」という理念である。創立者米田吉盛の提示したこの理念は、京都学派哲学を代表する学者の一人である高山岩男によれば、「極右でも極左でもない中正堅実な青年を育成する事」を意味しているという。批判的に読めば、右にも左にも決定できない曖昧な軟弱な教えともいえるが、私は米田が激動の時代の中で思惟したこの理念は、「自分自身の力そのものを信じた判断力と実践力」と解釈している。そのため、われわれ、宮陵会の会員は、この建学の精神である「中正堅実」という学びを発揮し、この混沌とした社会を良識ある市民として乗り越えていくことができているのではないかと、密かに感じている。

Kyu-Ryo No.75

目次

◎表紙 題「波に桜舞う」	活躍する卒業生 山崎 裕真さん …… 38	「給付奨学生」「大学院給付奨学生」採用証交付式、六角橋交差点付近の定点撮影写真 (神大資料編集室提供) …… 50
挨拶 一般社団法人神奈川大学宮陵会会長 内田 青蔵 …… 1	地域組織一覧 …… 24	過去の『宮陵会報』から …… 51
プレ「2028年神奈川大学創立100周年ー2027年宮陵会設立90周年」特集 Vol.3 …… 2~9	北九州宮陵会総会報告 松坂宏昭北九州宮陵会会長 …… 25	常民文化研究百年の沿革と特長 丸山泰明神大国際日本学部歴史民俗学科准教授 …… 52~53
宮陵会だより …… 10~13	「外出支援車を運行して8年」 夏秋博隆さん …… 26	課外活動 (宇宙ロケット部、ボクシング部、放送研究会 KBAS、ジャズ研究所、横浜蒼碧法律会)、「卒業生の本」紹介 藤井 俊二さん …… 54~56
挨拶 石渡 卓 学校法人神奈川大学理事長 …… 14	2025年度地域組織総会報告 …… 27~31, 39~45	平山昇ゼミナール (国際日本学部) の活動紹介 …… 57
挨拶 戸田 龍介 神奈川大学学長 …… 15	Kyu-Ryo photo gallery 松井章さん …… 32	卒業生の声 …… 58~60
「神大スポーツ・文化振興賛助金募金」寄付者ご芳名 …… 16~19	リレーエッセイ Masumi Yamamoto (山本真純)さん …… 33	読者から寄せられた『宮陵会報』(No121号)の感想、横浜専門学校校歌、神奈川大学校歌 …… 61~62
活躍する卒業生 渡辺 幸雄さん …… 20	「世代を超えた音楽の絆と禱」 曾根田 清管弦楽団 OB 会副会長 …… 34	総会案内、事務局からのご願い、2025年度で卒業の皆様へ、広告索引 …… 63
活躍する卒業生 横山 誠さん …… 21	神大創立者、米田吉盛先生の墓参会開催 港南区宮陵会 …… 45	卒業生コミュニティサイト (JINDAI Alumni) 利用手引き …… 64
活躍する卒業生 三浦 秀章さん …… 22	横浜市開港記念館についてーその学ぶべき価値とその魅力ー 内田 清蔵・同館名誉館長 …… 46~47	
活躍する卒業生 吉田 英美さん …… 23	大学からのお知らせ …… 48	
活躍する卒業生 柴田 大輔さん …… 35	神奈川大学箱根保養所の紹介 …… 49	
活躍する卒業生 飯塚正己さん …… 36		
活躍する卒業生 藤原 佳枝さん …… 37		

過去から未来へ

vol.3

Kyuryo、No.73・No.74では、横浜学院の創設から神奈川大学創立50周年を迎える時期までの歴史を紹介しました。第3回目となる今回は、横浜キャンパス再開発事業が完成する2000年ごろまでの出来事を紹介いたします。

第1回目、第2回目の記事を改めてご覧になる場合は、左記のURLからご覧ください。

第1回目 <https://www.kanagawa-u.ac.jp/kyuryokai/magazine/detail/pdf/kaishi73.pdf>

第2回目 <https://www.kanagawa-u.ac.jp/kyuryokai/magazine/detail/pdf/kaishi74.pdf>



主なできごと
*印は宮陵会関係
※太字は学外

1979(昭和54年) 1月 国立大学入試の共通一次学力試験、初めて実施

9月 米軍ジェット機家に墜落(緑区)

11月 『神奈川大学創立50周年記念論文集』刊行

12月 ソ連、アフガニスタン侵攻

1980(昭和55年) 3月 法学研究所『研究年報』創刊

7月 モスクワオリンピック開幕(日本・米国など不参加)

9月 イラン・イラク戦争

12月 学生自治会費・学生会費の代理徴収廃止を決定

1981(昭和56年) 3月 50周年記念映画「わが宮面ヶ丘よ」完成



創立50周年記念映画は、1981年3月に完成した



新たに制定された学長選考規程により初めて選出された飯田耕作学長



1979年11月に刊行された、「創立50周年記念論文集」

自治会費・学生会費の代理徴収の中止などを学生に通告した文書(1980年12月)



1960年代から1970年代は、全国の大学に大学紛争の嵐が吹き荒れ、神奈川大学も大きく変化する時代でした。創立者の米田吉盛が学長、理事長の要職から身を引いた後、学長や理事長が次々と交代し、非常に不安定な時期が続きましたが、1975年9月に工学部の永井宏先生が理事長に就任、翌年4月、新たに制定された学長選考規程により選出された外国語学部の飯田耕作先生が学長に就任してから、大学は少しずつ平穏な状況を取り戻し始めました。



八ヶ岳山麓に開設した富士見高原研修所



14号館(短期大学部研究棟)



アストン大学(イギリス)



サラマンカ大学(スペイン)



神奈川大学で受入れたアストン大学研修生(1980年代)

創立50周年の翌年には数年ぶりに学費改定を行い、少しずつ財政状態が好転すると、停滞していた教育・研究環境の整備が再開され、前号でお伝えした新図書館の建設をはじめとして、1980年2月に短期大学部教員の個人研究室、タイプライティング実習室、会議室などが配置された短期大学部研究棟(14号館)が竣工、同年9月、富士見高原研修所が八ヶ岳山麓の長野県諏訪郡富士見町に竣工しました。この時期に短期大学部は、経済学部などの教員によって教育課程が編成される従来の体制から、短期大学部専任教員を中心とする専任教員制となり、1979年4月、短期大学部専任教員の佐伯富士男教授が短期大学部責任者として主事に就任、第1回短期大学部教授会が開催され、短期大学部は独自性をもって教育・研究に邁進する環境が整いました。

1980年代には、大学紛争の収束が進み、それとともに国際交流が少しずつ活発になりました。神奈川大学における海外大学との交流は、

- | | |
|-----|------------------------------|
| 5月 | 経済貿易研究叢書第1号『現代日本の財政金融』刊行 |
| 7月 | 「神奈川大学日本常民文化研究所」設置 |
| 10月 | 福井謙一、ノーベル化学賞受賞 |
| 11月 | 男子学生寮(宮面寮)・女子学生寮(思苑寮)の廃寮 |
| 2月 | 1982昭和57年
日航機羽田沖への墜落事故 |
| 4月 | フォークランド紛争起こる |
| 5月 | 『神奈川大学五十年小史』刊行 |
| 6月 | 「みなとみらい21」計画発表 |
| 6月 | 東北新幹線開業 |
| 7月 | 「情報処理センター」開設 |
| 11月 | 上越新幹線開業 |
| 2月 | 1983昭和58年
日本初の実用通信衛星を打上げる |
| 3月 | 人文学研究所『人文学研究叢書(一)』刊行 |
| 8月 | 神奈川大学附属学校事務室の設置 |
| 9月 | ソ連空軍機の大韓航空機撃墜事件 |
| 10月 | 三宅島大噴火 |
| 3月 | 1984昭和59年
グリコ・森永事件 |
| 4月 | *神奈川大学同窓会を神奈川大学校友会に名称変更 |
| 11月 | 神奈川大学発祥の地記念像建立(西区境之谷公園) |
| 12月 | 「海外交流事務室」設置 |
| 1月 | 1985昭和60年
法学研究所『法学研究 |



就職部、工学研究所などが配置された18号館



神奈川大学生生活協同組合、強化合宿所、道場などが入る19号館



17号館の建設が始まったころのキャンパス(1981年)



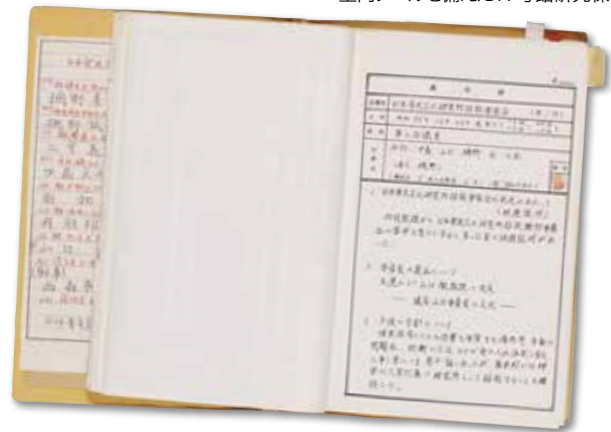
ソーラーシステムを導入し、室内プールを備えた17号館研究棟



「神奈川大学発祥の地」の記念碑除幕式であいさつする創立者米田吉盛(1984年11月)



神奈川大学附属中・高等学校開校式であいさつする永井宏理事長(1985年4月)



日本常民文化研究所招致委員会第1回議事録(1980年12月)

1980年11月の英国ア
 ストン大学との交流協定
 締結後、1983年から
 派遣語学研修、1986
 年からは派遣交換留学
 が始まり、学生を対象と
 した海外留学、語学研修
 のスタートとなりました。
 その後、中国、タイ、スベ
 イン、アメリカの大学と
 の協定の締結が進み、学
 生交流や研究交流が行
 われるようになりました。
 1980年12月、学生
 自治会費・第二部学友会
 費の代理徴収中止を決
 定し、1981年11月に、
 男子学生寮(宮面寮)、女
 子学生寮(思苑寮)を廃
 寮とし、大学紛争は終
 息へと向かうとともに
 学内施設の整備も進み、
 1982年8月に教員研
 究室、研究所、室内プー
 ルなどを備えた17号館が
 竣工、1984年3月に
 就職部と工学部演習室な
 どが入る18号館が竣工、
 1987年4月に19号館
 が竣工し、プレハブ小屋
 で営業を続けていた生協
 が移転したほか、学生部
 室、体育強化合宿所、道
 場などが配置され、教育・
 研究環境と合わせ、学生
 の福利厚生施設の充実も
 進みました。また、神奈
 川大学発祥の地に記念碑

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|-----------|---------|----------|------------------|--------------------------|----------|---------------------|------------------------|--------------------------------|------|-------------|------------------------------------|------------|---------|-------------|-------------|---------------------|-------------|----------------------------|-------------|-------------|---------|---------|---------|---------|
| 3月 | 4月 | 3月 | 1月 | 7月 | 4月 | 3月 | 11月 | 10月 | 5月 | 4月 | 2月 | 1月 | 12月 | 11月 | 10月 | 5月 | 4月 | 1月 | 10月 | 8月 | 6月 | 4月 | 3月 | | |
| 1989 | 昭和64平成元年 | 1988 | 昭和63年 | 1987 | 昭和62年 | 1986 | 昭和61年 | 1985 | 昭和60年 | 1984 | 昭和59年 | 1983 | 昭和58年 | 1982 | 昭和57年 | 1981 | 昭和56年 | 1980 | 昭和55年 | 1979 | 昭和54年 | 1978 | 昭和53年 | | |
| 「平成」と改元 | 経営学部理学部開設 | 横浜博覧会開幕 | 青函トンネル開業 | 外国語学部中国語学
科増設 | 潜水艦「なだしお」と第
一富士丸の衝突事故 | 青函トンネル開業 | 大韓航空機ビルマ上空
で行方不明 | 利根川進、ノーベル医
学・生理学賞受賞 | 米田吉盛逝去
*校友会設立50周年
記念式典開催 | JR発足 | 『神奈川大学評論』創刊 | 全国地区対抗ラグビー
大会で、ラグビー部が
初出場初優勝 | 『学問への誘い』刊行 | 伊豆大島大噴火 | 「国際経営研究所」設置 | 「知識情報研究所」設置 | チェルノブイリ原子力
発電所事故 | ジャマー号打ち上げ失敗 | スペースシャトルチャレン
ジャー号打ち上げ失敗 | 日航ジャンボ機墜落事故 | 男女雇用機会均等法公布 | 学芸員課程設置 | 学芸員課程設置 | 学芸員課程設置 | 学芸員課程設置 |



創立者米田吉盛の大学葬(1987年5月)



開設当時の附属中・高等学校1号館



附属学校開設当時の中山キャンパスとその周辺



附属学校のシンボルソリー(くすの木)



平塚に新設された経営学部、理学部の学部案内



を残すべきとの同窓生らの声を受け、1984年11月、神奈川大学の前身となる横浜専門学校が設置された地(横浜市西区境之谷公園)に、米田吉盛による題字が台座に刻まれた神奈川大学発祥の地の記念像が建立されました。

大学内の諸設備の充実が進む中、1921年に渋沢敬三が創設したアチック・ミュージアムソサエティを起源とする日本常民文化研究所が神奈川大学に誘致され、1981年7月、神奈川大学日本常民文化研究所が設置されました。

また、神奈川大学創立50周年記念事業の一環で、附属学校設置の検討が進められ、創立者の米田吉盛が理想とする寮制度の実現を目指して取得していた中山校地に、1985年4月、神奈川大学附属中・高等学校が開校しました。中山校地は、附属中・高等学校の施設が整備されると共に、大学が使用するグラウンドも整備されました。

附属中・高等学校は、中高一貫の男子校(その後、男女共学に移行)として開校し、大学の建学の精

9月	7月	4月	1992(平成4)年	12月	8月	5月	4月	1月	1991(平成3)年	10月	4月	1月	1990(平成2)年	12月	10月	9月	6月	
大学院外国語学研究所修士課程設置	山形新幹線開業	日本人初の宇宙飛行士毛利衛、米スペースシャトル「エンデバー」に搭乗	大学院外国語学研究所修士課程設置	大学院外国語学研究所修士課程設置	ソ連最高会議、ソ連邦消滅を宣言	長崎県の雲仙普賢岳で大火砕流発生	大学院工学研究科(経営工学専攻)修士課程設置	湾岸戦争勃発	湾岸戦争勃発	パブル経済崩壊 東西ドイツ統一	花の万博開催	大学院工学研究科博士課程設置	大学入試センター試験始まる	米ソ両首脳、東西冷戦の終結と「新時代の到来」を確認(マルタ会談)	『神奈川大学創立六十周年記念論文集』刊行	天安門事件	横浜ベイブリッジ開通	6月



宮面寮跡地に建設された20号館



中国語学科設置祝賀会、設立当時の専任教員(1988年4月)



校友会設立50周年記念祝賀会
(1987年5月)



平塚キャンパス開設当時のキャンパスとその周辺(1989年)



ハイテク・リサーチ・センタープロジェクトで建設された研究棟

神を引き継いだ先進的な教育に取り組む進学校として運営されています。1988年に神奈川県立60周年を迎えることとなりますが、1987年5月に創立者の米田吉盛が逝去し、しめやかに大学葬が行われました。1988年には、外国語学部にて中国語学科が増設され、同年にかつて男子寮のあった場所に、L・L・教室や視聴覚室、教員研究室などを配した20号館(語学研究棟)が竣工しました。また、附属学校では男女共学化に伴う施設整備の一環で3号館が建設されました。1985年、創立60周年記念事業の大きな柱となる新たなキャンパスの設置計画が提起されました。新たなキャンパスは、急速な国際化と技術革新の進展の中で、社会的ニーズにこたえるべく、経営学部と理学部の設置が柱となり、1989年、自然豊かな平塚市の北西部に、経営学部国際経営学科、理学部情報科学科・化学科・応用生物科学科の2学部4学科を擁する平塚キャンパスが開設されました。開設当初の施設は、2棟の

10月	明仁天皇・美智子皇后、中国初訪問
11月	『神奈川県立大学評論叢書』創刊
1993平成5年	カリキュラム改革実施(一般教育科目を再編)
4月	大学院経営学研究科理学研究科修士課程設置 大学院歴史民俗資料学研究科修士課程設置 大学院工学研究科(経営工学専攻)博士後期課程増設 「知識情報研究所」を「総合理学研究所」に改組 天皇・皇后、歴代天皇として初めて沖繩を訪問 横浜・八景島 シーパラダイスオープン 細川護熙・非自民8党派連立内閣成立
1994平成6年	松本サリン事件 自民・社会・さきがけ連立内閣成立
6月	関西国際空港開港
9月	第1回ホームカミングデー開催
10月	大江健三郎ノーベル文学賞受賞
1995平成7年	阪神・淡路大震災 地下鉄サリン事件
1月	法学部に自治行政学科増設
3月	短期大学部専攻科設置
4月	大学院外国語学研究科、歴史民俗資料学研究科、理学研究科に博士後期課程増設
1996平成8年	陸上競技部、第28回全日本大学駅伝対校選手権大会初優勝
11月	陸上競技部、第28回全日本大学駅伝対校選手権大会初優勝
1997平成9年	陸上競技部、第73回東



経営・理学部の年次進行で建築された67号館(1991年5月竣工)



創立70周年、米田吉盛生誕100年を記念して開催された偲ぶ会(1998年5月17日)



平塚キャンパスに建設されたクラブ棟(1995年7月竣工)



1995年に新設された法学部自治行政学科案内

大学設置基準の大綱化への対応に関する学長文書(学園ニュースかながわ1991年10月)



入試センター、国際交流センター、宮陵会事務局、セレストホールが入る16号館(1996年9月竣工)

校舎と体育館、食堂や購買の入る厚生棟、学生部室棟、3つのグラウンド、テニスコート4面、50mプールで、学生数の増加に合わせて、1991年5月、実験室と教室からなる67号館が竣工しました。開設当初の学生数は約400名でしたが、開設20周年となる2009年には、約3900名の学生が学ぶキャンパスへと発展しました。それまでの間、「平塚キャンパス」から「湘南ひらつかキャンパス」への名称変更、大学院の設置、ハイテク・リサーチ・センタープロジェクトへの採択や、経営学部独自の国際教育が行われるなど、充実した教育・研究が行われました。改めて大学全体に目を向けると、1991年の大学設置基準の大綱化をうけてカリキュラムの改正が検討され、1993年、一般教育科目を中心とするカリキュラムの大幅改正が全学部において実施されました。また、同年には、母体となる学部を持たない大学院歴史民俗資料学研究所が設置されました。1990年代には大学院の整備拡充が続き、7研究科14専攻

- | | |
|-----------|--------------------------------------|
| 4月 | 京箱根間往復大学駅伝競走初優勝(総合優勝)消費税3%から5%に引き上げ |
| 5月 | *校友会設立60周年記念大会開催 |
| 7月 | 香港、英国から中国に返還 |
| 11月 | 陸上競技部、第29回全日本大学駅伝対校選手権大会連続優勝 |
| 1998平成10年 | 1月 陸上競技部、第74回東京箱根間往復大学駅伝競走連続優勝(完全優勝) |
| 2月 | 冬季オリンピック長野大会開幕 |
| 4月 | 「横浜キャンパス再開発計画」発表 |
| 5月 | 創立者米田吉盛生誕百年記念「曇前祭」・「徳ぶ会」開催 |
| 10月 | 横浜「ベイスターズ」38年振りに日本一 |
| 11月 | 神奈川大学創立70周年記念式典・祝賀会開催 |
| 1999平成11年 | 1月 『神奈川大学創立七十年記念論文集』刊行 |
| 3月 | 『17首の青春』(第1回)神奈川大学全国高校生俳句大賞優秀作品集刊行 |
| 5月 | 短期大学部学生募集停止並びに廃止に係わる学則変更を決定 |
| 8月 | 情報公開法公布 |
| 9月 | 国旗・国歌法公布 |
| 2000平成12年 | 3月 『神奈川大学評論ブックレット』創刊 |
| 4月 | 短期大学部学生募集停止 |
| 4月 | 介護保険制度スタート |



宮陵会設立60周年記念大会(1997年)



16号館が建設されるまで、学生運動による混乱を避けるために、東神奈川駅前の入試センターで入試業務を行っていた



創立70周年記念事業完成記念モニュメント

学生部室、トレーニングセンターが設置された22号館(人間科学棟)



横浜キャンパス再開発計画で建替えられた1号館

を擁するまで発展しました。1995年には、法学部に自治行政学科が、短期大学部に専攻科が設置されました。

1996年、宮陵会入試センター、国際交流センター、セレストホールが入る16号館が竣工し、大学紛争による入試業務妨害を避けて、学外で行われていた入試業務が学内で行われるようになりました。同年11月には、全日本大学駅伝対校選手権大会で初優勝し、翌年の箱根駅伝も初優勝、それぞれ2年連続優勝の快挙を遂げました。

神奈川大学創立70周年となる1998年は、創立者米田吉盛の生誕100年にあたり、墓前祭と偲ぶ会が行われ、これを機に、毎年5月17日の命日に、創立者を偲ぶ「吉盛忌」を執り行うようになりました。

横浜キャンパスでは、創立70周年記念事業として、「安全で快適なキャンパス環境の整備」を目標とした再開発が行われ、まず、耐震診断をもとに、建物の補強、改修、老朽化した建物の解体などが行われ、2000年に22号館(人間科学棟)、免



- | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|------------------------------|----------------|----------------------|----------------------|--|---------------------|------------------------|----------------|---------|----------------------|--------------------|---------|----------------|-----|
| 12月 | 10月 | 9月 | 8月 | 5月 | 4月 | 3月 | 2002平成14年 | 10月 | 9月 | 4月 | 3月 | 1月 | 2001平成13年 | 10月 |
| 短期大学部および短期大学部専攻科廃止 | 小柴昌俊・ノーベル物理学賞、田中耕一・ノーベル化学賞受賞 | 朝 小泉純一郎首相、初の訪朝 | 住民基本台帳ネットワークシステムスタート | 横浜港大さん橋国際客船ターミナルオープン | (平)ハイテク・リサーチ・センタープロジェクト「高度機能を持つ分子・生物ホトニクス」の基盤技術開発」が採択
横浜港赤レンガ倉庫オープン | 「神奈川大学入門テキストシリーズ」刊行 | 「横浜キャンパス再開発計画」完成記念式典開催 | 野衣良治、ノーベル化学賞受賞 | 米同時多発テロ | 横浜市内外各大学との単位互換制度始まる。 | 「神奈川大学短期大学部の50年」刊行 | 中央省庁再編成 | 白川英樹、ノーベル化学賞受賞 | |



23号館地下に設置された免振装置



免震構造の23号館(工学部棟)



短期大学部廃止に際して刊行された「神奈川大学短期大学部の50年」(2001年3月刊行)



横浜キャンパス再開発事業完成直前の様子

震構造を持つ23号館(工学部棟)が相次いで竣工し、翌2001年には新1号館(本館)が竣工し、2002年3月に神奈川大学創立70周年記念事業が完了しました。横浜、湘南ひらつかキャンパスの整備が続く中、短期大学部の志願者が減少し続け、2000年3月に募集停止、2002年12月に短期大学部、短期大学部専攻科が廃止となりました。1950年、時代の要請により短期大学部が設置され独自の教育を行ってきましたが、50年にわたる歴史に幕を下ろしました。

100周年に向けて大きく変化し続ける神奈川大学については、次回ご紹介いたします。

横浜キャンパス、みなとみらいキャンパスには、大学史に関する展示が常設されています。大学へお越しになられた際は、ぜひご覧ください。

◎広報委員会委員／木内好信
◎協力・写真提供

／神奈川大学資料編纂室



みなとみらいキャンパス1階 米田吉盛記念ホール前の大学史展示コーナー



横浜キャンパス3号館1階 大学史展示室

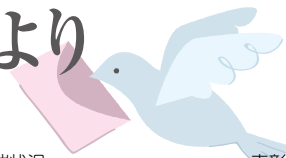
正味財産増減予算書

2026年4月1日から2027年3月31日まで

(単位：円)

科目	2026年度予算	2025年度予算	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①財産運用益	206,000	11,000	195,000
基本財産受取利息	(6,000)	(1,000)	(5,000)
特定資産受取利息	(200,000)	(10,000)	(190,000)
②受取会費	120,140,000	118,640,000	1,500,000
正会員会費	(5,890,000)	(5,890,000)	(0)
準会員会費	(114,250,000)	(112,750,000)	(1,500,000)
③雑収益	700,000	330,000	370,000
受取利息	(400,000)	(30,000)	(370,000)
雑収益	(300,000)	(300,000)	(0)
経常収益計	121,046,000	118,981,000	2,065,000
(2) 経常費用			
①事業費			
給料手当	8,815,000	10,100,000	△ 1,285,000
退職給付引当金繰入額	79,000	185,000	△ 106,000
福利厚生費	1,110,000	1,250,000	△ 140,000
会議費	273,000	880,000	△ 607,000
旅費交通費	4,440,000	6,420,000	△ 1,980,000
通信運搬費	43,146,000	32,827,000	10,319,000
消耗品費	1,905,000	1,559,000	346,000
印刷製本費	12,370,000	8,740,000	3,630,000
慶弔交際費	2,200,000	2,200,000	0
賃借料	480,000	410,000	70,000
保険料	45,000	0	45,000
諸謝金	440,000	620,000	△ 180,000
渉外費	10,000	0	10,000
支払負担金	3,300,000	3,300,000	0
支払助成金	15,550,000	14,400,000	1,150,000
支払寄付金	5,250,000	5,250,000	0
給付奨学金	4,000,000	4,000,000	0
委託費	2,450,000	1,030,000	1,420,000
支払手数料	250,000	0	250,000
雑費	10,000	100,000	△ 90,000
事業費計	106,123,000	93,271,000	12,852,000
②管理費			
給料手当	8,815,000	10,100,000	△ 1,285,000
派遣事務費	3,600,000	3,000,000	600,000
臨時雇用賃金	290,000	410,000	△ 120,000
退職給付引当金繰入額	79,000	185,000	△ 106,000
福利厚生費	1,110,000	1,250,000	△ 140,000
会議費	1,420,000	1,720,000	△ 300,000
旅費交通費	5,090,000	4,860,000	230,000
通信運搬費	1,033,000	1,000,000	33,000
減価償却費	550,000	880,000	△ 330,000
消耗什器備品費	200,000	200,000	0
消耗品費	640,000	1,152,000	△ 512,000
印刷製本費	580,000	650,000	△ 70,000
慶弔交際費	1,100,000	1,400,000	△ 300,000
賃借料	410,000	410,000	0
保険料	440,000	440,000	0
委託費	4,395,000	2,775,000	1,620,000
支払手数料	240,000	340,000	△ 100,000
雑費	240,000	250,000	△ 10,000
管理費計	30,232,000	31,022,000	△ 790,000
経常費用計	136,355,000	124,293,000	12,062,000
当期経常増減額	△ 15,309,000	△ 5,312,000	△ 9,997,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 15,309,000	△ 5,312,000	△ 9,997,000
一般正味財産期首残高	363,094,676	368,406,676	△ 5,312,000
一般正味財産期末残高	347,785,676	363,094,676	△ 15,309,000
II 指定正味財産増減の部			
①受取寄付金			
受取寄付金			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
III 正味財産期末残高	347,785,676	363,094,676	△ 15,309,000

宮陵会だより



2026年度事業計画
2026年度正味財産増減予算書
2026年度収支予算書
2025年度理事会開催状況
定時総会
監査

各種委員会開催状況
地域組織総会等開催状況
新規設立地域組織
解散地域組織
名称変更地域組織
地域組織新代表者紹介

表彰者
計報
2026年度本部理事会開催予定
2026年度ブロック会開催予定
教育研究奨励助成金採用者
給付奨学生採用者

2026年度 事業計画・予算書

- 会員相互の連携強化、その他本会の目的達成に付随する事業
- 会員相互の情報共有のための事業
 - 「会誌」宮陵第75号の発行、「宮陵会報」第122号(夏)・第123号(冬)の発行、他広報事業。会誌及び会報122号(冬)は正会員のみ、会報122号(夏)は住所判明者へ送付予定。
- 会員相互の連携を深めるための事業
 - 地域組織の活動に対する支援、助成
 - 地域組織総会出席時祝金
 - 出張者交通費
 - 資料発送等通信費
- 「特別予算制度」の試行的導入
 - 地域組織総会通信費助成(職域、同期・同好を除く)
 - 地域組織設立周年行事経費の助成
 - 女性会員地域組織総会参加費助成(職域、同期・同好を除く)
 - 準会員地域組織総会参加費助成(職域を除く)
 - 地域組織のホームページ新設及び運営の支援
 - ブロック会への支援
 - ブロック会開催時の案内発送等の支援
 - ブロック会開催地域組織の経費助成
 - ブロック内参加地域組織の旅費交通費の助成
- 組織基盤確立のための地域組織の設立・再建等の支援
 - 新たな地域組織の設立や休眠状態にある組織の再建支援。
- 地方ブロック会への準会員の派遣事業
 - 地域組織活性化のため活動やイベント等に対して助成する事業。①「2025年度までに実績があり、かつ、2026年度以降も継続の見込みがあるもの」、②「2026年度に予定している新たな事業」を対象に、地域組織(職域、同期・同好含む)からの申請を受け付け、申請された事業を精査したうえで、「採択の可否」及び「助成額」を決定する。2026年度は試行的導入として位置付け、2027年度以降の運用に向けて検討する。
 - 宮陵会事業活動の普及のための交流企画
 - ホームカミングデーや神大フェスタにおける、宮陵会館を利用したイベントの企画、運営。神奈川大学専門職宮陵会連絡協議会と連携し、ホームカミングデー当日に「何でも無料相談会」を開催する。また、「お休み処」として宮陵会館を開放し、地域組織の活動紹介や卒業生に縁のある茶葉等を提供する交流の場とする。
- 宮陵会(在学生会)に対する「宮陵会」広報活動の強化
 - 神奈川大学の共通教養科目の授業における本会の歴史等についての講義。
 - 卒業生(4年次)への「会誌」郵送。
- 新入生(準会員)への記念品贈呈
- 神奈川大学の進展と維持に

収支予算書

2026年4月1日から2027年3月31日まで

(単位：円)

科 目	2026年度予算	2025年度予算	増減
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
①財産運用収入	206,000	11,000	195,000
②会費収入	120,140,000	118,640,000	1,500,000
正会員会費収入	(5,890,000)	(5,890,000)	(0)
準会員会費収入	(114,250,000)	(112,750,000)	(1,500,000)
③雑収入	700,000	330,000	370,000
事業活動収入計	121,046,000	118,981,000	2,065,000
2 事業活動支出			
①事業費支出	106,044,000	93,086,000	12,958,000
給料手当支出	8,815,000	10,100,000	△ 1,285,000
福利厚生費支出	1,110,000	1,250,000	△ 140,000
会議費支出	273,000	880,000	△ 607,000
旅費交通費支出	4,440,000	6,420,000	△ 1,980,000
通信運搬費支出	43,146,000	32,827,000	10,319,000
消耗品費支出	1,905,000	1,559,000	346,000
印刷製本費支出	12,370,000	8,740,000	3,630,000
慶弔交際費支出	2,200,000	2,200,000	0
賃借料支出	480,000	410,000	70,000
保険料支出	45,000	0	45,000
諸謝金支出	440,000	620,000	△ 180,000
渉外費支出	10,000	0	10,000
支払負担金支出	3,300,000	3,300,000	0
支払助成金支出	15,550,000	14,400,000	1,150,000
支払寄付金支出	5,250,000	5,250,000	0
給付奨学金支出	4,000,000	4,000,000	0
委託費支出	2,450,000	1,030,000	1,420,000
支払手数料支出	250,000	0	250,000
雑支出	10,000	100,000	△ 90,000
②管理費支出	29,603,000	29,957,000	△ 354,000
給料手当支出	8,815,000	10,100,000	△ 1,285,000
派遣事務費支出	3,600,000	3,000,000	600,000
臨時雇用賃金支出	290,000	410,000	△ 120,000
福利厚生費支出	1,110,000	1,250,000	△ 140,000
会議費支出	1,420,000	1,720,000	△ 300,000
旅費交通費支出	5,090,000	4,860,000	230,000
通信運搬費支出	1,033,000	1,000,000	33,000
消耗什器備品費支出	200,000	200,000	0
消耗品費支出	640,000	1,152,000	△ 512,000
印刷製本費支出	580,000	650,000	△ 70,000
慶弔交際費支出	1,100,000	1,400,000	△ 300,000
賃借料支出	410,000	410,000	0
保険料支出	440,000	440,000	0
委託費支出	4,395,000	2,775,000	1,620,000
支払手数料支出	240,000	340,000	△ 100,000
雑支出	240,000	250,000	△ 10,000
事業活動支出計	135,647,000	123,043,000	12,604,000
事業活動収支差額	△ 14,601,000	△ 4,062,000	△ 10,539,000
II 投資活動収支の部			
1 投資活動収入			
投資活動収入計			
2 投資活動支出			
①神奈川大学100周年積立金	0	9,000,000	△ 9,000,000
②宮陵会90周年積立金	2,000,000	2,000,000	0
③特定資産取得支出	158,000	370,000	△ 212,000
投資活動支出計	2,158,000	11,370,000	△ 9,212,000
投資活動収支差額	△ 2,158,000	△ 11,370,000	9,212,000
III 予備費支出			
予備費支出	236,028,676	252,787,676	△ 16,759,000
			0
当期収支差額	△ 252,787,676	△ 268,219,676	15,432,000
前期繰越収支差額	252,787,676	268,219,676	△ 15,432,000
次期繰越収支差額	0	0	0

必要な事業

1. 神奈川大学教育振興事業

(1) 神奈川大学事業協賛寄付等

① ホームカミングデーへの協賛

② 卒業祝賀行事の共催

③ 陸上競技部駅伝報告会協賛

④ 卒業式記念写真撮影ステージの装花

(2) 神奈川大学在学生課外活動等支援事業

① 学生課外活動助成金

イ. 学生課外活動助成

○. 卒業生指導者交

通費等の助成

在学生特別事業
在学生が開催する講演会及びスポーツ大会への助成

(3) 神奈川大学「教育振興基金」への指定寄付

① 特定給付奨学金
課外活動奨学金

(4) 神奈川大学「特定寄付金」への指定寄付

① 課外活動援助金

(5) 神奈川大学教育研究奨励助成事業

神奈川大学の学術研究の進展を目的に、専任教員(含む、特任教員、特別助手、特別助教)のうち神奈川大学の学部卒業生及び大学院修了者を対象とした教育研究奨励助成金。

(6) 神奈川大学「神大スपोर्ट・文化振興奨励金」案内への協力

(7) 学校法人神奈川大学総務部校友課との連携

2. 本会奨学金の給付事業

(1) 給付奨学金

学部生 経済的困窮者対象
大学院生 学業成績優秀者対象

Ⅲ. 本会本部関係

1. 本部関係会議
(1) 2026年度定時総会の開催
2026年6月13日(土)

(2) 理事会の開催
年6回(5・7・10・12・1・3月を予定)

(3) 各種委員会の開催
総務財政、組織、広報、事業、交流企画

(4) その他委員会の開催
代議員・役員選挙管理委員会、代議員候補者推薦委員会

2. 代議員選挙の実施
(1) 2027・2028年度の

代議員を選出する選挙の実施。

3. 「神奈川大学宮陵会設立90周年事業」への積み立て

(1) 神奈川大学宮陵会設立90周年(2027年)事業への積み立て。

4. 神奈川大学宮陵会設立90周年事業の準備

(1) 神奈川大学宮陵会設立90周年(2027年)事業に向けた準備。

5. 新卒業生情報管理システムの改修

(1) 2025年度に運用を開始したシステムの不具合修正、機能の改善等。

6. 財政基盤の確立

(1) 会費の納入促進と会費制の見直し。

(2) 既存事業の抜本的な見直しと中期事業計画の検討。

(3) 健全に事業を運営するための事業・経費の合理化の検討。

7. 本会事務局体制の強化

(1) 学校法人神奈川大学総務部校友課との連携・協力。

理事会開催状況

●2025年5月9日(金) 議案

1. 2024年度事業報告及び決算に関する件

2. 2025年度補正予算に関する件

3. 表彰規程に基づく表彰者の決定に関する件

4. 「一般社団法人神奈川大学宮陵会職員の賞与及び退職金の取扱いについて」の一部改正に関する件

5. 「一般社団法人神奈川大学宮陵会職員任用規程」の一部改正に関する件

部改正に関する件
職務執行状況報告

●2025年6月14日(土) 議案

1. 会長、副会長及び専務理事の選定に関する件

●2025年7月4日(金) 議案

1. 「会計処理規則」の一部改正に関する件

2. 名誉役員の委嘱に関する件

3. 理事の職務分担に関する件

4. 「スペシャルジャズコンサートin横浜」の主催及び予算措置に関する件

●2025年8月1日(金) 議案

1. 理事の職務分担に関する件

2. 委員会規則に基づく各委員会委員の選任に関する件

3. 表彰委員会委員の選任に関する件

4. 一般社団法人神奈川大学宮

陵会情報管理委員会委員に関する件

5. 一般社団法人神奈川大学陵会個人情報管理責任者に関する件

●2025年10月3日(金)

議案

1. 一般社団法人神奈川大学宮陵会地域組織の設置等に関する取扱規程の一部改正に関する件

2. 地域組織名称変更の承認に関する件

3. 委員会規則に基づく各委員会委員の選任に関する件

●2025年12月5日(金)

議案

1. 地域組織解散の承認に関する件

2. 地域組織設置の承認に関する件

3. 2026年度からの「特別予算制度」の導入に関する件

●2026年2月7日(土)

議案

1. 2026年度定時総会の開催に関する件

2. 地域組織名称変更の承認に関する件

3. 地域組織設置の承認に関する件

●2026年3月7日(土)

議案

1. 2026(令和8)年度事業計画及び予算に関する件

2. 一般社団法人神奈川大学宮陵会ブロック会要領の一部改正に関する件

3. 一般社団法人神奈川大学宮陵会課外活動団体指導者の助成金取扱要領に基づく指導者への助成金に関する件

定時総会

●2025年6月14日(土)

報告事項

1. 2024年度(2024年4月1日から2025年3月31日まで) 事業報告

2. 2025年度(2025年4月1日から2026年3月31日まで) 事業計画及び予算

3. 2024年度(2024年4月1日から2025年3月31日まで) 決算承認の件

2. 役員(理事20名、監事3名)選任の件

監査

●2025年4月23日(水) 2024年度監査

各種委員会開催状況

2025(令和7)年

4月7日 広報委員会

4月10日-16日 表彰委員会

4月16日 総務財政委員会

4月18日 役員選挙管理委員会

5月9日 財政改革実施特別委員会

5月13日 役員選挙管理委員会

5月28日 事業委員会「春の講演会」

7月31日-8月5日 組織委員会(メール)

9月8日-16日 事業委員会(メール)

10月15日-11月11日 組織委員会(メール)

画委員会「何でも無料相談会」お休み処

11月25日 広報委員会

12月8日-2026年1月11日 交流企画委員(メール)

12月9日-17日 事業委員会(メール)

12月10日-26日 組織委員会(メール)

2026(令和8)年

2月9日 総務財政委員会

2月6日-12日 事業委員会

3月17日 広報委員会

4月12日 瀬谷・泉区総会

4月12日 港南区総会

4月27日 ラグビー部OB会

5月18日 秦野市総会

5月18日 小池ゼミ八池会総会

5月24日 札幌総会

5月24日 川崎市総会

6月7日 京滋総会

6月7日 横浜北総会

6月7日 藤沢総会

6月14日 空手部OB会総会

6月14日 アメリカンフットボール部OB会総会

6月14日 学士山岳会総会

レシフト総会

7月5日 群馬総会

7月5日 大坂奈良総会

7月5日 鳥取伯耆総会

7月5日 保土ヶ谷・旭区総会

7月5日 南足柄総会

7月5日 弓道部OB・OG会

7月6日 三浦半島総会

7月12日 栃木県総会

7月12日 群馬東毛総会

7月12日 バスケソフトボール部OB会総会

7月18日 神奈川大学学内総会

7月19日 三重県総会

7月19日 福岡総会

7月26日 旭川総会

7月26日 山形県総会

7月26日 兵庫県総会

7月26日 神奈川・鶴見区総会

7月27日 男子フクロボウ部OB会総会

8月30日 石川県総会

8月30日 ヨット部OB会総会

9月6日 北海道ブロック会

OG会総会

11月7日 函館総会

11月8日 東北ブロック会

(秋田県)

11月8日 室蘭総会

11月8日 相模原総会

11月8日 クリエートメディアック

11月8日 総会

11月8日 社労士総会

11月8日 卓球部OB会総会

11月8日 マンドリンアンサンブル

11月8日 OB会総会

11月15日 中国ブロック会

(鳥取伯耆)

11月15日 新潟県総会

11月15日 千葉県総会

11月15日 広島県総会

11月15日 沖縄県総会

11月16日 青森県総会

11月22日 埼玉県総会

11月29日 北九州総会

11月29日 シェイクスピア英語

3月7日 宮崎県総会

3月14日 鳥根県総会

新規設立地域組織

行政書士宮陵会

管弦楽団 Alumni

解散地域組織

清輝会支部

名称変更地域組織

山口県宮陵会

変更前名称

山口県(防長)宮陵会

変更前名称 弓心会支部

地域組織新代表者紹介

青森県宮陵会

金濱 宏悦様(53工経)

福井県宮陵会

櫻井 雅康様(53経)

富山県宮陵会

剛様(45経)

佐地

千葉県宮陵会

哲様(60電)

群馬県宮陵会

武井 智明様(57建)

兵庫県宮陵会

佐瀬比幸子様(52英)

杉村 隆十様(50法)

鳥取因幡宮陵会

谷口 昭一様(56質)

保土ヶ谷・旭区宮陵会

河野 寛様(56経)

港南区宮陵会

和知 親裕様(63質)

会計人宮陵会

今田 正紀様

柔道部OB・OG会 (45経・平16経博前)

林 保充様(平11自治) 弓道部OB・OG会宮陵会
 松坂 宏昭様(59賢) アメリカンフットボール部OB会
 青木 信之様(57法) 卓球部OB会
 照井 寿雄様(57経) ヨット部OB会
 清田 亨様(57法) 学士山岳会
 五井 和彦様(53法) 男子ラクロス部OB会
 古川 正知様(平7経) シェイクスピア英語劇研究会
 橋爪 巖様(42賢) OB会

表彰者

●功労表彰
 (表彰規程第2条第2号該当) 地域組織関係
 坪内 邦至様(40経) (元島根県宮陵会会長)
 夏秋 博隆様(48法) (元佐賀県宮陵会会長)
 ●感謝表彰
 (表彰規程第2条第3号該当) 地域組織関係
 阿佐慶正秀様(52建) (元沖縄県宮陵会会長)
 熊谷 貞彦様(40経) (元硬式野球部OB会会長)
 ●特別表彰
 (表彰規程第2条第4号該当) 水泳部
 第100回 日本学生選手権水泳競技大会
 権水泳競技大会
 女子総合優勝
 小島優々美様
 人間科学部人間科学科2年 第66回日本選手権(25m) 水泳競技会
 女子50m平泳ぎ 優勝

第66回日本選手権(25m) 水泳競技会
 女子1000m平泳ぎ準優勝
 長岡 愛海様
 経済学部現代ビジネス学科2年 第66回日本選手権(25m) 水泳競技会
 女子1000m背泳ぎ 優勝
 第66回日本選手権(25m) 水泳競技会
 女子200m背泳ぎ 優勝
 第17回世界短水路選手権(25m) 女子200m背泳ぎ 11位
 内藤 未唯様(令7人科) 2024日本学生陸上競技個人選手権大会
 女子10000m 優勝
 新倉すみれ様(令7人科) 文部科学大臣杯令和6年度全日本学生レスリング選手権大会
 女子72kg級 優勝
 令和6年度天皇杯 全日本レスリング選手権大会
 女子72kg級 準優勝
 2024 Seniors Asia Championships
 72kg級 7位
 星野 レイ様 人間科学部人間科学科2年 2024年度JOCジュニアオリンピックカップジュニアフラインズカップレスリング選手権大会
 U-20の部 68kg級 優勝
 令和6年度明治杯全日本選抜レスリング選手権大会
 女子68kg級 優勝
 平能 孝一様(48賢) 宮陵会参与
 前神奈川県宮陵会会長 2025年4月22日逝去
 池田 靖宏様(39工経) 京滋宮陵会顧問・前会長 2025年6月1日逝去
 宇久田進治様 (43賢・平22経博前) 宮陵会相談役
 2025年6月9日逝去
 大澤 武法様(35経) 宮陵会相談役
 2025年11月13日逝去

訃報
 謹んでお悔やみ申し上げます

宮坂 恒一様(39電) 前長野東北信宮陵会会長 2025年2月17日逝去

**2026年度
 ブロック会開催予定**

●2026年
 5月8日(金)
 7月31日(金)
 10月2日(金)
 12月4日(金)
 ●2027年
 1月30日(土)
 3月6日(土)
 3月27日(土) 予備日

本部理事会開催予定

●2026年
 5月8日(金)
 7月31日(金)
 10月2日(金)
 12月4日(金)
 ●2027年
 1月30日(土)
 3月6日(土)
 3月27日(土) 予備日

2025(令和7)年度 教育研究奨励助成金

所属	職種	氏名	卒年・学科	修了年・研究科専攻	研究課題
工学部 電気電子情報工学科	特別助教	渡邊 騎通	2002 電気工学科	2004 工博前 2007 工博後	強磁性線・強磁性積層薄膜における大バルクハウゼンジャンプに関する研究
化学生命学部 応用化学科	特別助教	橋本 征奈	2013 物質生命化学科	2015 工博前 2018 工博後	光機能化合物の反応機構解析
工学部 機械工学科	助教	鈴木 健児	1993 機械工学科	1995 工博前	カム機構を用いた低脈動型ラジアルピストン水圧モータの回転円板型分配弁の開発
化学生命学部 生命機能学科	特別助教	伊部 公太	2013 物質生命化学科	2015 工博前 2020 工博後	活性型ビタミンD3の作用分離を実現する新規誘導体開発
工学部 機械工学科	特別助教	脇谷 趣間	2019 機械工学科	2015 工博前 2020 工博後	環境に配慮した工具冷却システムの開発

2025(令和7)年度 一般社団法人神奈川大学宮陵会給付奨学生

給付奨学生

■第1期

学部	学科	学年	氏名
経済学部	経済学科	4	鈴木 一平

■第2期

学部	学科	学年	氏名
外国語学部	英語英文学科	3	安達 友俐

大学院給付奨学生

研究科	課程	専攻	学年	氏名
人間科学	博士前期	人間科学	1	臼井 礼人
工学	博士前期	工学	1	尾崎 佑樹
工学	博士前期	工学	1	瀧口 真由
工学	博士前期	工学	2	岡部 開翔

研究科	課程	専攻	学年	氏名
工学	博士前期	工学	2	生越 莉乃
工学	博士前期	工学	2	白井 大翔
歴史民俗資料学	博士前期	歴史民俗資料学	1	松下 颯汰
工学	博士後期	工学	1	川口 舞子

宮陵会の皆さまへのご挨拶



学校法人神奈川大学 理事長

いしわた たかし
石 渡 卓

1976(昭和51)年経済学部貿易学科卒業

本学園は2年後に創立100周年を迎えます。少子高齢化の加速に伴い、いわゆる「2040年問題」が急速に現実味を帯びる中で、本学園が持続的に発展していくためには、今こそ将来を見据えた戦略的な取り組みが求められます。

100周年さらにその先の学園を見据え、次の6つの重点課題を掲げ、諸施策の実現に向けて全力を尽くす所存です。

① 創立100周年の次のビジョンの策定

本学の将来構想は創立100周年を目指した内容となっていることから、次の目標を定め、本学園の次のビジョンを策定します。

② 周年記念事業の実施

記念式典や記念講演会などを実施します。多くの関係者の皆さまとともに神奈川大学の歴史と伝統を振り返り、本学のさらなる発展を願う場といたします。これらの記念行事を通じて、本学の理念や社会的役割を再確認し、未来へのビジョンを広く社会と共有する機会として参ります。

③ 広報戦略・ブランディングの強化

本学の「建学の精神」に基づく教育や研究の特色、そして社会における存在意義をより効果的発信し、競争力強化に直結した広報戦略およびブランディングの取り組みを確実に進めて参ります。

④ 社会連携事業の推進

横浜のまちとともに歩む大学として、地域に根ざした高等教育機関の使命を果たすべく、自治体や企業、地域団体との連携を一層強化します。また、地域社会に開かれた大学としての存在価値を高め、地域課題の解決にも積極的に貢献して参ります。

⑤ DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進

教育・研究・事務のあらゆる領域においてICTの活用を進め、大学機能の高度化と業務の効率化を実現するDXを積極的に推進して参ります。急速に進展する情報技術と社会変化に柔軟に対応し、より質の高い教育・研究環境の整備を目指します。

⑥ 寄付金の拡充

学生納付金に依存した財政構造からの脱却を図り、募

金事業の強化や事業会社の活用など多様な収入源の確保に取り組んで参ります。特に、寄付金の拡充に注力し、他大学を参考にしながら、安定した収益構造の構築を推進して参ります。

上記諸施策を実現するにあたり、本年は「見直し・点検・評価」をキーワードとし、それらを丁寧かつ確実に取り組んで参ります。短期的にも中長期的にも成果を明確かつ可視化しながら、目標に向かって歩みを進める中で、これまで諦めていたことや先送りしてきた課題にも、改めて挑戦する姿勢を大切にしていきたいと考えております。

創立100周年を単なる通過点とするのではなく、「次の100年を力強く切り拓くための礎」と位置づけ、未来を見据えた歩みを着実に進めて参ります。

卒業生の皆さまにとって、本学が誇りに思える母校であり続けられるよう、永続的なパートナーシップをさらに強固なものとしていく所存です。今後とも、皆さまの変わらぬご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

学長ご挨拶



神奈川大学 学長

と だ りゅう すけ
戸 田 龍 介

宮陵会の皆様には、日頃より奨学金をはじめ本学の運営につきまして多大なるご支援を賜り、神奈川大学の教職員を代表いたしまして、厚く御礼申し上げます。

神奈川大学は、2年後の2028年に創立100周年という大きな節目を迎えます。

この節目に向け、「学生を最も成長させる大学」を目標に掲げ、入試・教育・キャリア支援を一体的に進める「三位一体改革」を推進しております。

まず、入口である入試においては、受験生の目線に立った制度改革を行い、高校生から「選ばれる大学」であり続けることを目指して、入試改革に取り組んでまいりました。具体的には、高校生のニーズに合わせ、本学のアドミッシヨンポリシーに合った受験生を選抜するための総合型選抜の導入や、英語外部試験結果の活用など、新たな入試制度を整備いたしました。

一般入試では、入学検定料の併願割引や、複数学科を受験できる「全学統一型」など、受験生に寄り添った入試

改革を進めてまいりました。その結果、総志願者数は30年ぶりに4万人を超えることとなりました。多様な背景や可能性をもつ学生を迎え入れることで、本学の学びをより一層充実したものにしていきたいと考えております。

次に、中身である教育の改革として、学生の主体的な学びを重視し、変化の激しい時代に対応できる人材の育成に取り組んでおります。

2026年4月には、経済学部にて経済データ分析学科を新設するとともに、人間科学部では探究型の学びを中心とした新たなカリキュラムを導入しております。また、共通教養科目として「共通教養データサイエンスプログラム」を設け、学部を問わず、データを活用して社会課題に向き合う力を育成する教育環境を整備しました。

さらに、出口である就職およびキャリア形成にも重点を置き、資格取得支援や教員を目指す学生へのサポート、インターンシップの拡充などを通じて、学生一人ひとりの将来を力強く支援してまいります。

100周年、そしてその先

の未来に向けて、三位一体構想と新たな研究推進体制の確立を二本柱とする大きなビジョンのもと、「YOKO HAMA（横浜）を舞台に、学生を最も成長させる大学」として教職員一丸となって神奈川大学の改革を進めてまいり所存です。

宮陵会の皆様には、これまで多くのご協力をいただきありがとうございましたことに深く感謝申し上げます。今後とも、本学をご支援くださいますよう、心よりお願い申し上げます。



「神大スポーツ・文化振興賛助金募金」寄付者ご芳名(敬称略)

令和七年一月一日〜令和七年十二月三十一日現在

課外活動団体へのご支援を賜り誠にありがとうございました。お受けいただきました寄付金は、ご指定の課外活動団体に回付し活用させていただいております。校友の皆さまのご厚情に心より感謝申し上げます。

・課外活動団体毎に、ご芳名を五十首順に掲載いたしました。
 ・ご芳名の公表を希望されていない方については掲載しておりません。
 ・期間内にお申し込み、ご入金の確認ができました皆さまを掲載いたしました。
 ・金融機関の処理事情等により確認が遅れた場合は、本誌次号の掲載となりますのでご了承ください。

●合気道部

合計五件 一万九千円
 小口 雅彦 平成6応化
 鈴木 正憲 昭和46経
 森倉 清一 昭和45法
 匿名 二件

●アメリカンフットボール部

合計五件 二百九万七千五百四十四円
 神奈川大学アメリカンフットボール部OB会
 青木 信之 昭和57法
 木村 力也 令和7日文
 清水 玄 昭和59法
 戸田 浩信 平成4機

●空手道部

合計四件 三万三千円
 大河内 博夫 昭和57法
 平野 莞爾 昭和38電
 水谷 智 昭和58電
 山品 武 昭和31電

●弓道部

合計十七件 十九万五千円
 今枝 健治 昭和56経
 岡田 孝 昭和44経
 小原 淳 平成10法
 川畑 敏之 昭和45経
 後藤 宣晴 昭和54経
 木幡 卓 昭和57経
 小林 章司 昭和58経
 辻 享 昭和57経
 中村 真人 昭和46経
 深澤 孝夫 昭和63法
 藤本 佳子 昭和63法
 松坂 宏昭 昭和59法
 村山 義信 昭和43法
 渡邊 淳 昭和59法
 匿名 二件 昭和57短商

●剣道部

合計四件 一万九千円
 青木 まゆみ 平成10法
 齋藤 学 平成23国営
 宮川 善行 昭和49買
 吉田 満広 昭和44買

●硬式庭球部

合計四件 一万六千円
 久米 信行 昭和49経
 高田 和明 昭和49機

●硬式野球部

合計三十八件 百二十万三千円

新井 好幸 昭和31経
 石原 稔 昭和53経
 内田 正聡 平成11法
 梅田 正博 昭和13経
 大蔵 博 昭和35経
 奥山 政美 昭和62経
 片瀨 吉彦 昭和55工経
 木村 紀一 昭和39応化
 小泉 康 平成26営博前
 小森 啓太 平成22人科
 佐久間 忠己 昭和51工経
 佐藤 忠義 昭和40法
 佐藤 敏明 昭和56法
 佐藤 昌幸 昭和44法
 芝田 正夫 昭和46法
 庄子 雄大 令和7人科
 曾根 貴之 昭和60経
 高橋 一行 昭和37経
 田中 忍 昭和50法
 徳竹 雄太 平成28自法
 橋原 正行 昭和16法
 南保 裕 昭和51法
 西原 寿久 昭和37法
 細谷 喜義 平成元電
 本多 正博 昭和59法
 松下 賢一郎 昭和59法

●丸山

丸山 潤治 昭和48経
 宮川 善行 昭和49買
 宮下 嘉克 昭和63経
 安井 照明 昭和58買
 吉田 秀昭 昭和55経
 匿名 五件



●ゴルフ部

合計十件 三十一万一千円
 石渡 卓 昭和51買
 今田 駿作 平成24国営
 佐藤 晴幸 昭和50経
 信田 良浩 昭和58買
 高木 雄司 平成11法
 徳藤 雄太 平成21国営
 匿名 内藤 裕太

●西山

西山 美一 昭和56経
 増田 耕治 昭和62経
 匿名 一件

●サッカー部

合計十六件 十萬九千円
 五百川 尚彦 平成6法
 五十嵐 惇 昭和33電
 石渡 卓 昭和51買
 大石 光利 昭和48法
 岡本 英訓 平成19法
 川合 健太 平成23情シ
 木明 邦旭 昭和53法
 栗田 正彦 昭和46法
 芝田 雄太 平成28自治
 徳竹 幸二 昭和53買
 西脇 延佳 平成7心生
 平井 延佳 平成11英
 匿名 三件

●女子サッカー部

合計十七件 二十六万七千円
 五百川 尚彦 平成6法
 五十嵐 惇 昭和33電
 大石 光利 昭和48法
 岡本 英訓 平成19法
 片岡 祐一 昭和57買
 片岡 祐二 昭和57買
 亀山 修一 昭和50法
 小林 和正 昭和37法
 柴田 一喜 昭和46法
 芝田 好美 昭和28国営
 長谷 正夫 昭和45法
 中野 裕之 昭和56法
 橋本 裕之 昭和36法
 畑山 正親 昭和7心生
 平井 延佳 平成49電
 宮永 士郎 昭和49電
 森 正美 平成元法
 匿名 安田 彰

●山岳部

合計四件 六万七千円
 西條 豊明 昭和45機
 鈴木 忠仁 平成9国営
 田中 康典 昭和50経
 中野 洋一 昭和40機

●柔道部

合計三件 三万円
 清水 貞男 昭和48工経
 星山 正範 平成9応化
 水谷 智 昭和58買

●準硬式野球部

合計五件 三万一千円
 飯尾 松男 昭和45経
 奥山 政美 昭和62応化
 堤 清次 昭和58経
 匿名 二件

●水泳部

合計二十五件 三十一万四千円
 神奈川大学山岳部有志一同
 新井 恒男 昭和52法
 伊藤 忠男 昭和35法
 内山 曜子 昭和53法
 陰山 義晴 昭和38法
 小川 克弘 昭和58法
 立神 邦晴 平成26営博前
 玉田 健一 昭和43法
 綱川 佳一 昭和50法
 中野 正一 昭和45法
 夏永 隆一 昭和57法
 南秋 博 昭和48法
 西脇 幸二 昭和51法
 橋本 裕之 昭和36法
 藤津 加奈子 平成31法
 藤原 祐輔 平成22法
 三島 千明 昭和46買

●森下

森下 正俊 昭和45応化
 八代 隆郎 平成10法
 彌永 雄一 平成21法
 若林 保 昭和47経
 匿名 二件



●スキー部

合計一件 一万円
 三浦 忠善 昭和55法


●アイスホッケー部

合計六件 四万円
 菅野 賢一 昭和43法
 鈴木 睦夫 昭和44法
 高橋 賢孝 昭和55法
 田中 保和 平成8法
 村上 東司 昭和14法
 依田 和美 昭和51法

「神大スポーツ・文化振興賛助金募金」募金要項

- (1) 募金対象者 卒業生、教職員、在学生のご父母又は保証人、一般、企業・団体等
 (2) 募金額 1口 1,000円 (1団体1口以上 1,000円単位)
 ※賛助する課外活動団体を必ず指定してください。
 (3) 申し込み方法 以下の①②いずれかの方法でお申し込みください。

①インターネットからのお申し込み

「神奈川大学公式ホームページ」トップページ右上の  をクリックしていただき、寄付申込フォームへお進みください。



スマートフォン、
タブレット等から
読み取ってください。

神奈川大学 募金

検索

〈決済方法〉

クレジットカード、ペイジー（インターネットバンキング、ATM）、PayPayから選択できます。

〈クレジットカード決済〉

下記はご利用可能な
クレジットカードです。



〈Pay-easy 決済〉

インターネットバンキング又は ATM で
お振り込みいただけます。
※ペイジーマークのついている金融機関
でご利用いただけます。



〈PayPay 決済〉

申し込み内容確定後にログイン・お支払い
操作を行います。詳細は、PayPay株式会
社公式サイトをご参考になさってください。



②専用払込取扱票を利用

神奈川大学財務部財務課募金担当までご連絡ください。郵送させていただきます。

■課外活動団体一覧表

番号	体育会	番号	学術系	番号	学術系
2	合気道部	28	男子バスケットボール部	55	ギターアンサンブル部
3	アメリカンフットボール部	29	女子バスケットボール部	57	GLOBAL ☆ YEN ☆ LEAP
5	空手道部	30	バドミントン部	59	軽音楽部
6	弓道部	31	バレーボール部	61	サイクリング愛好会
7	剣道部	32	女子バレーボール部	62	茶道研究部
8	硬式庭球部	33	ハンドボール部	63	写真研究部
9	硬式野球部	35	ボクシング部	65	ジャズ研究所
10	ゴルフ部	36	ボディビル部	66	将棋部
11	サッカー部	37	ヨット部	67	書道部
12	女子サッカー部	38	ラグビー部	68	神大フェスタ実行委員会
13	山岳部	39	男子ラクロス部	69	吹奏楽部
14	柔道部	40	女子ラクロス部	70	鉄道研究部
15	準硬式野球部	41	陸上競技部	71	美術研究部
17	水泳部	42	レスリング部	73	文藝部
18	スキー部	109	ライフセービング部	74	放送研究会 KBAS
19	アイスホッケー部	112	ウインドサーフィン部	75	ポピュラー音楽部
20	スケート部	114	チアリーディング部	77	漫画研究部
21	スノーボード部	番号	スポーツ系	78	マンドリン・アンサンブル
22	体操部	118	アルティメット部	81	ロスガトス
23	卓球部	126	SLAP	83	ワンダーフォーゲル部
25	トライアスロン部	番号	文化系	84	IVUSA
26	軟式庭球部	51	アドベンチャークラブ	87	N.M.K
27	軟式野球部	53	カレッジ・サウンズ・オーケストラ	89	劇団はこぶね
		54	管弦楽団	90	現代視覚文化研究会 DESIRE
				91	作画研究会
				93	手話サークル 303
				94	神大ルーデンス
				95	フォークス
				111	アカペラサークル JACK
				120	ISCA
				121	KADO-Japanese flower arrangement
				122	模型研究会
				123	KU GOOD COFFEE CLUB
				127	サブカルチャー研究会
				128	Game Creators Circle
				129	ポケモンらぼ
				130	お笑いサークル KYS
				番号	学術系
				97	英語研究部 (E.S.S)
				98	会計学研究部
				99	私法研究部
				101	横浜蒼碧法律会
				番号	工学系
				106	自動車工学研究部
				107	内燃機関研究部
				117	宇宙ロケット部
				124	宇宙エレベータプロジェクト
				125	ロボットプロジェクト

2026年(令和8年)4月現在

◆お知らせ◆

- 文化系にお笑いサークル KYS (番号 130) が新設されました。
- アーチェリー部、混声合唱団クール・アンジェは現在休部中です。

大学公式ホームページに課外活動団体の紹介及び活動内容をご案内しています。

<https://www.kanagawa-u.ac.jp>

トップページ ≫ キャンパスライフ ≫ 課外活動

【お問い合わせ先】

学校法人神奈川大学 財務部財務課 募金担当
 TEL.045-481-5661 FAX.045-481-2731
 E-mail bokin-jml@kanagawa-u.ac.jp

「二期一会」の出会いを大切に

渡辺 幸雄

わたなべ・ゆきお
1965(昭和40)年新潟県生まれ。
1989(平成元)年工学部応用化学
科卒業。同年株式会社植木組入社。
1994(平成6)年株式会社渡大組
入社。1995(平成7)年同社代表取
締役社長に就任。白根青年会議所
理事長や白根ロータリークラブ会
長、建災防新潟県支部西蒲分会長
などを歴任。2024(令和6)年にし
かん倫理法人会会長。



本年2月6日(金)、神奈川大学の卒業生でコロナ前に米国ロサンゼルスを拠点に活躍した、Masumi Yamamoto さんのジャズライブコンサートを、「プロが選ぶ日本のホテル・旅館100選」で全国一位に輝いた月岡温泉「白玉の湯ホテル泉慶」で開催しました。

私が勤めている会社は、新潟市内に本社をおく株式会社渡大組という建設業の会社です。おかげさまで本年創業72年を経過し、途中さまざまに困難がありましたが続けてくることができました。

弊社は祖父の代に創業し、私の父が会社を設立した後、平成7年に5代目経営者として私が会社を引き継ぎました。当時30才での社長は地元建設業界では一番若く、生存競争の



泉慶の女将さんと



セブ島旅行

当初は若い後輩が参加してくれて良かったと思う程度で、名刺交換を

厳しい環境下で社員と話し合いながら、必死に営業してきました。「一度お付き合いしたお客さまとのご縁を大切に」という信念で、お客さまを少しずつ増やし仕事の幅を広げました。その中で特に大切なのは、協力会社の皆さんでした。良い仕事をすれば、次もお客さまから声がかかり、仕事の出来が悪ければ自然とお客さまも離れていきます。

弊社では協力会社との絆を深くするために「安全協議会」という協力会社との会があり、安全研修と親睦を深める行事を年4回開催しています。今回のコンサートは、その行事の一つである新年会のメインプログラムとして開催しました。

Masumi Yamamoto さんとの出会いは、一昨年の第39回新潟県宮陵会総会です。

して軽くお話しした程度でした。その後、彼女の経歴を検索したら、シンガーソングライターとしてのデビューシングルが米ビルボード誌のヒップホップ、R&Bチャートで4位を記録していることを知り、非常に興味を引きました。昨年の第40回新潟県宮陵会総会では1時間のジャズライブコンサートでピアノ演奏を披露して頂き、プロの生演奏の凄さと彼女のピアノへの情熱を感じ、一気にファンになりました。その場で弊社の新年会での演奏をお願いし、快諾を頂きました。彼女は、出身地である長岡市の小中学校を訪れ、校



研修旅行(左から2人目が筆者)

歌をジャズアレンジで演奏したり、自身の経験を伝える講演も行い、子供たちに音楽の楽しさを伝える活動を行っております。ぜひ、皆さんからの応援をお願いします。

新潟県宮陵会に参加される若いOBの方が少なくなってきたことを残念に思います。同じ大学出身というだけで、先輩や後輩とのさまざまなご縁を頂ける機会を是非味わって頂きたい。私も還暦を迎え、残りの人生をどう楽しむか考える年代となりました。毎日が新鮮な一日であるよう、二期一会の人生を楽しみましょう。



演奏するMasumi Yamamotoさん=新年会で

森の生き方を感じよう

一般社団法人にむの森 代表理事

横山 誠

私は1971年に神奈川大学へ入学しましたが、入学1カ月後にロックアウトとなり、1〜2年次はアルバイト漬けの日々でした。3年進級時の取得単位は約40単位。機械工学科の卒業要件140単位を前に人生最大の勉強を重ね、奇跡的に4年で卒業できました。

1975年、父の木材会社に入社し、札幌本社での営業、大雪山での造材・造林、上川町の製材工場勤務などを経験しました。しかし、1954年の洞爺丸台風をようやく生き延びた原生林の木を容赦なく伐ることに強い違和感を覚え、木材輸入自由化による将来不安もあり、1990年に会社を売却しました。

木材業時代の業務用コンピュータ導入をきっかけに、プログラミンを習得し、家業をやめる頃にコンピュータ機器販売とソフト開発業を起

業。札幌市財務局や水道局をはじめ多くの企業のシステムを手がけましたが、急激な業界変化を受け、2010年に円満に事業を終えました。

2004年、札幌市内にある一家所有の森に初めて入り、精霊が住む別世界のような自然林に深く心を打たれました。もう一つの一家の森、上川町のトドマツ人工林は暗く荒れ放題で、入るのも躊躇しました。放置林でも、自然林と人工林ではこうも違うものかと考えさせられました。そこで、札幌の森は手入れを最小限にして長い年月をかけて原生林に近づけていくことを決意しました。ただし、都会の人でも入れるように林野庁の交付金を活用し、森一周道とトイレ、熊除け電気柵を整備しました。さらに森への負荷が最も少ない休憩施設として樹上建築に着目し、2009年に小林崇氏のツリーハウスビルダーズスクールで基礎

を学び、翌年からツリーハウス作りを開始。現役棟梁の協力も得て2012年に完成しました。この時、

この森を「にむの森」(アイヌ語で木に登る)と名付けました。以後、自然を敬うアイヌ文化の担い手「ひろおばちゃん」と連携して、アイヌの祈りや祭り、結婚式、パフォーマンスを行う「にむ祭り」を毎年開催。その他多様な活動が自然発生的に広がり、2018年には多くの仲間のおかげで、2棟目のツリーハウスも完成しました。そんな中、世界にも目を向け、アメリカやカナダ、コスタリカのツリーハウス行脚を初め、多くの国の森を見てきました。

20年以上森と向き合う中で、自然は人が支配するものではなく、助け合っていることを実感しています。人だけが自然から離れ、争いに明け暮れしているように見えます。神奈川大学の学生や先生、宮陵会の皆さま、ぜひ「にむの森」に来て、自然の中で癒されながら、その生き方を感じていただけたら嬉しいです。

よこやま・まこと
1975(昭和50)年工学部機械工学科卒業、横山木材工業株式会社入社。90年株式会社近藤情報システム設立、2012年2年かけてツリーハウス1号棟完成。会員制「にむ倶楽部」を立上げる。18年3年かけてツリーハウス2号棟完成。23年「一般社団法人にむの森」設立、理事長となる。



にむの森にリーナアンナール ヨルダン大使(女性)が来る。右端筆者

木業時代の業務用コンピュータ導入をきっかけに、プログラミンを習得し、家業をやめる頃にコンピュータ



オレゴン州でツリーハウスボルトの考案者ガルニエに会う。左筆者



完成したツリーハウス1号棟前で、右から2人目筆者



完成したツリーハウス2号棟全容。左端筆者

「人間万事塞翁が馬」

株式会社白石設計&サスケグループ業務推進事業部マネジャー

三浦 秀章

この言葉を最初に知ったのは、私
がまだ高校生の頃だったかと思いま
す。当時は随分難しい言葉だなどい
う印象で、何か特別な感情を抱くこ
とはありませんでした。そして歳月
を経て54歳となった今、気がつけば
この言葉が私の座右の銘となってい
ました。

ではその間、何があったのかとい
うことですが、実は36歳のときに脊
髄動静脈奇形という先天性の病気が
発症し、その後手術などやれること
を尽くしましたが、残念ながら完全
に歩けない体となってしまったので
す。当時のことを思い出すと今でも
胸がつかまるような感覚が蘇ってきま
す。さらに追い打
ちをかけるよう
に、大学卒業後14
年間ずっと勤めて
いた会社も辞めざ
るを得ない話とな
り、非常に辛い思
いをしました。そ
の後も下半身麻痺
による二次障害と

してお尻の褥瘡じよくそうが悪化し、手術と入
退院を繰り返すことになりました。
幾度も心が折れそうになる経験をし
ましたが、それでもなんとか今こう
していられるのは、大きな心の支え
があったからだと思っています。

それはつまり家族、今の会社、そ
して大学時代の恩師の存在です。
現在私が勤めている株式会社白石
設計&サスケグループは、地元の愛
媛県新居浜市に本社があり、13年
にわたって中四国にて障害者の就労
支援事業を行っています。実は私も
2013年から利用者として8年半
お世話になりました。その間、度重
なる褥瘡に悩まされながらも、会社
の支援によって何とか体調を安定さ
せることができました。

そしてついには利用者から社員に
転身し、今では在宅勤務のままマネ
ジャーという要職にも就かせていた
だき、会社や社長へ恩返しをするつ
もりで頑張っているところです。こ
こまでたどり着くには本当に時間
がかかりましたが、昨年から小中学
校での講演などで自分が経験したこ
とを人へ伝えるような活動も行っ
ています。また会社HPのコラム欄に
も、世の中の障害で困っている人の
希望や勇気に繋げるために、障害に
なつてからの半生を連載形式で綴っ
ています。(昨年12月に最終回)

そして、この「人へ伝えること」
のきっかけを与えていただいたの
が、大学時代(経営学部国際経営学
科松岡ゼミ2期生)の恩師、松岡紀
雄先生なのです。もしよければ連載
第9回「障がいになったことの意味」
の回をご一読いただければ幸いです。
ここで
の松岡先生
との再会が
今の私の原
点だと思っ
ています。

みうら・ひであき
1994(平成6)年神奈川大学経営
学部卒業後、日本食研株式会社
に入社。36歳の時に脊髄の病
気を発症し車椅子生活となり退
職。41歳の時、障害者の就労支
援事業所サスケ工場の利用者として約8年間従事。50歳で株式会社
白石設計&サスケグループ社員
となる。現職は業務推進事業部
マネジャー。



孫(現在1歳、当時3カ月)と。



「車いす社員みうらさん」ブログ=勤務する株式会社白石設計&サスケグループで。
HP連載コラムに筆者のブログを掲載。タイトル画像とQRコード。

そしてついには利用者から社員に
転身し、今では在宅勤務のままマネ
ジャーという要職にも就かせていた
だき、会社や社長へ恩返しをするつ
もりで頑張っているところです。こ
こまでたどり着くには本当に時間
がかかりましたが、昨年から小中学
校での講演などで自分が経験したこ



障害当事者として、昨年から小中学校で講演=
新居浜西中学校で



松岡ゼミOB・OG会の1スナップ。松岡先生と奥さん、1、2期
生とその家族が中心=22.9.17東京商工会議所



松岡ゼミOB・OG会の1スナップ。松岡先生と奥さん、松岡ゼミOB・OGとその家族
22.9.17東京商工会議所



大学時代のオーストラリア短期留学時

広島県には神奈川大学卒業生が多く、毎年開催される広島県宮陵会の総会や懇親会で先輩方と交流できることは、卒業して四半世紀が経った今も、母校を身近に感じられる大切な機会となっています。私は経営学部国際経済学科に在籍し、友人に恵まれた学生生活は本当に充実したものでした。2年生の春休みには大学のキャリアラムでオーストラリア・



職場で使う気象観測データ

メルボルンに1か月以上ホームステイし、学科の仲間やホストファミリーと過ごした時間は今でも忘れられない貴重な経験です。一方で、就職活動は氷河期の真ただ中で、特に強みのなかった私には厳しいものでした。書類選考すら通らない状況が続き、卒業後は地元広島で契約職員として事務職に就きました。その時、「自分に自信を持てる資格を取り、専門職として働きたい」と強く思い、空を見るのが好きだった私は気象予



広島市江波山気象館外観

報士を目指しました。天気で体調を崩しやすかったことも勉強の励みになりましたが、合格までの道のりは長く、何度も挫折しそうになりました。それでも4年かけて資格を取得し、気象会社で気象原稿の作成や予報業務、中国地方でのラジオ解説など、念願の仕事に携わることができました。結婚・出産を機に現場を離れましたが、その後も自治体主催の防災士養成講座の講師や防災講演会に呼んでいただき、気象予報士として活動の場があったことは大きな支えでした。地元ラジオ局では「天気と防災のコーナー」を10年以上担当し、現在も発信を続けています。

子どもが小学校に上がるタイミングで気象現場に復帰し、現在は気象会社に所属しながら広島市の江波山気象館で予報業務と気象相談を担当しています。独自予報を行い、毎日12時と17時に天気



ラジオで話しているところ

概況をホームページに掲載しています。多くの資料を分析しながら天気や気温を慎重に予想する日々は、好きな気象に触れ続けられる幸せな時間です。子育てをしながら気象や防災に関わる仕事ができているのは、あの氷河期の逆境があったからこそだと感じています。神奈川大学で過ごした時間を誇りに、これからも努力を続けていきます。皆さまのご健闘を心よりお祈りしています。

「氷河期の就活から気象予報士へ」 「逆境を力に変えた、私の歩み」

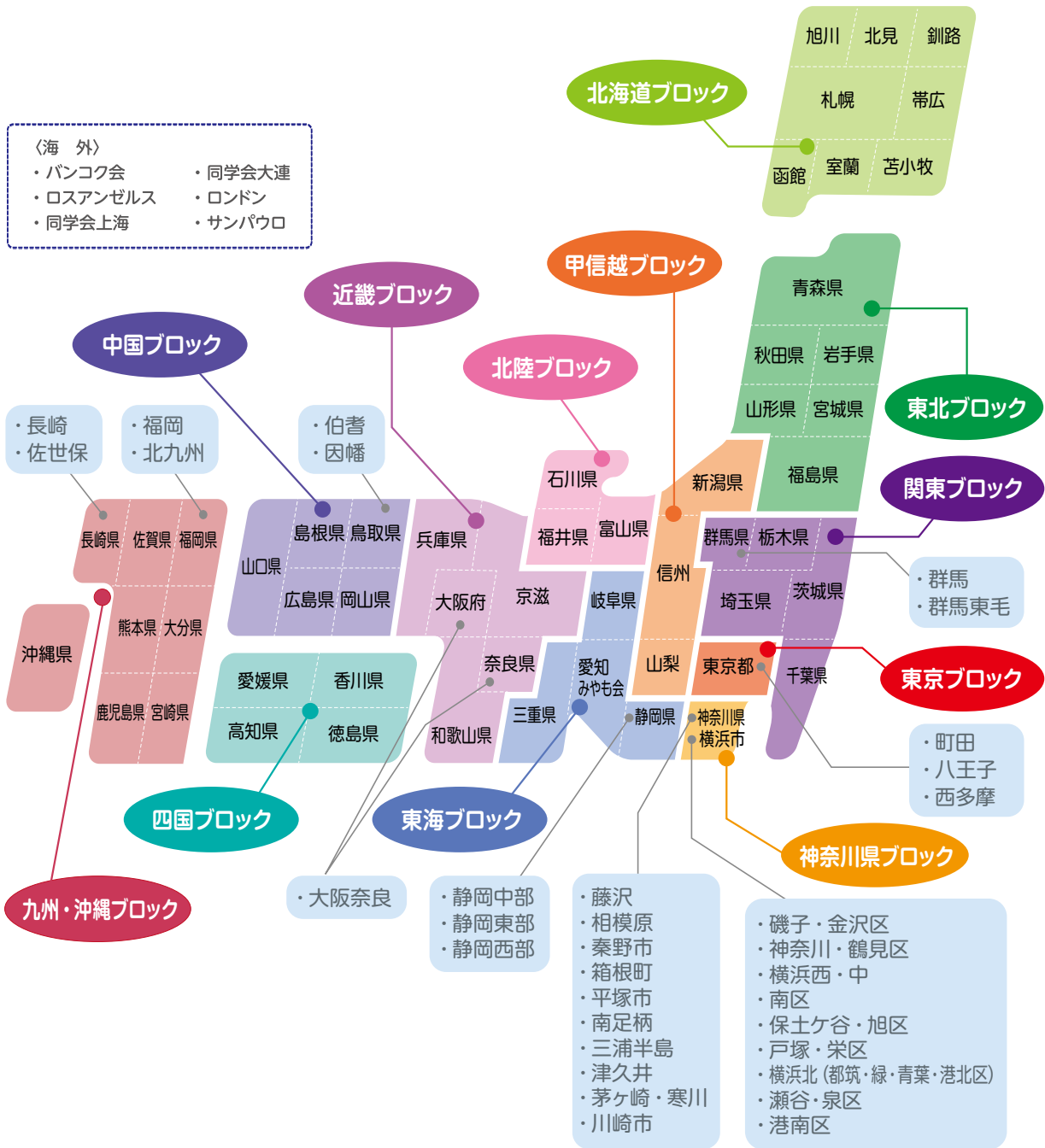
気象予報士、気象防災アドバイザー、熱中症予防指導員 吉田 英美

よしだ・えみ
広島市出身。1999(平成11)年に経営学部国際経営学科卒業後、気象予報士に。現在は予報業務や地元ラジオで気象・防災を伝え、防災講座の講師や熱中症予防指導員インストラクターとして活動中。



広島市の空と雲

地域組織一覽



職 域

神奈川県庁	横浜信用金庫
大田区役所	高島屋
山武	東京都庁会
三井物産(株)	クリエートメディック
協同電気	大和製罐
村上開明堂	会計人
J F E	社 労 士
日立オートモティブ厚木	三 進
神奈川大学学内	観 光
川本工業	法 曹
横浜銀行	行 政 書 士

同期・同好

珊瑚の会	柔道部OB・OG会	吹奏楽部OB会
海神の会	弓道部OB・OG会	自動車工学研究部OB会
原 陵 会	アメリカンフットボール部OB会	男子ラクロス部OB会
森 睦 会	ハングライダー部OB会	マンドリンアンサンブルOB会
陵 法 会	レスリング部OB・OG会	フロイデコール・レジェンド
小池ゼミ六池会	ラグビー部OB会	スケート部アイスホッケー部門OB・OG会
衣笠・アサモアゼミナル神湘会	卓球部OB会	スケート部スピード部門OB・OG会
化学生命学部同窓会	ヨット部OB会	模型研究会OB・OG会
ボクシング部OB会	濱 菊 会	シェイクスピア英語劇研究会OB会
陸上競技部OB会	学 士 山 岳 会	管弦楽団 Alumni
バスケットボール部OB会	硬式野球部OB会	
空手部OB会	写真研究部OB会	

コロナ禍の影響で、昨年4年ぶりに開催した総会は参加者が少なく、会の運営に支障をきたしかねないと考え、模索しながら宮陵会の活性化に取り組んでいる北九州宮陵会の様子を、松坂宏昭同宮陵会会長兼事務局長に寄稿いただきました。(編集部)

「今までにとらわれず何でもやれることはやろう」

北九州宮陵会会長兼事務局長

松坂 宏昭

1984(昭和59)年経済学部貿易学科卒業



北九州宮陵会総会は毎年11月、最後の土曜日午後4時30分から行っております。ご多分に漏れず、地域組織としての北九州宮陵会もコロナ禍の影響をモロに受け、開催を自粛し、4年ぶりに開催した3年前の総会は参加者が9人。かつて総会参加者は40人前後が当たり前であったのに「どうして?」と思ったほどでした。

本当に危機感を覚えました。今後この会を運営することができると不安しかありませんでした。とは言っても、何もしないともっとじり貧になる。ならば少しでも

できることがあれば何でもやろうと考えました。まずは、九州・沖縄プロククの各地域組織の宮陵会にできるだけ参加させてもらえるよう依頼。他地域はどうしているのか勉強をさせてもらうため各地域の会長や事務局長にお願いし、参加させて頂きました。

残念ながら、どこも同じ悩みを抱え、今後の運営を不安視することばかり。しかも地方から神大に進学する学生は大幅減。Uターン就職希望者はさらに少ない。これ

戸畑祇園大山笠西流れの演奏(ユネスコ無形文化遺産)…星の部を演奏する中学生にも参加頂き、会場で生演奏(さらに祭りの様子を会場内で放映)

までは元気で、しかも楽しみに参加された方も高齢化、体調にも問題を抱える人が増え、参加できない状態になっていくことなど、残念な情報が多く入りましました。さらに驚かされたのは「毎年同じ場所、ただ集まり、飲んで食べるだけだから、もう参加しなくてもいいかな」「マンネリになっているので、参加しなくてもいいでしょ」という意見

もあるようでした。聞けば聞くほど、落ち込む情報ばかり。

ただ、こうした情報に接し「参加者をもっと増やすには」「地域組織を盛り上げるには」と、この二つだけを真剣に考え、開き直り、今までのルールや縛りにとらわれず、何でもやれることはやろうと、覚悟ができたのも事実でした。

前年度からは、北九州宮陵会総会・懇親会を『ちよつと早い忘年会(しかもXmasパーティも兼ねて)』と銘打ち、懇親会からはご家族も一緒に参加して下さいと呼掛け、北部九州を中心に活動され世界大会にも参加するフルート奏者をお呼びし、Xmasイメージの演奏をしてもらい、大いに楽しんでもらえればと考えました。

こうした企画に加え、神大や横浜という街に興味を持ってもらいたい、総会・懇



親会に多くの人に参加してもらいたいと考えようになりました。すると、地元北九州の良さもアピールしたいと、考えれば考えるほど楽しくなり、想像が膨らみ、できることは何でもやってみようと思いつき、今年度の懇親会はいろいろチャレンジさせてもらった次第です。

来年の北九州宮陵会総会や懇親会も既にいろいろ楽しんでもらえる企画を考えております。毎年11月最後の土曜日開催は決定しています。全国どこからでも神大に関わる方なら参加できます。一度遊びに来る感覚で来られますか。北九州宮陵会一同お待ちしております。



懇親会で現役学生に横浜市風景・神大キャンパス(横浜・みなとみらい)の施設や講義室のプレゼンを行ってもらう。中学・高校に通う学生やその保護者に神奈川大学をアピール(懇親会でイベント演奏頂いた北九州市の高校生が大いに興味を示してくれることにも)

外出支援車を運行して8年

佐賀県宮陵会の前会長・夏秋博隆さんが設立から現在の運営まで携わる「外出支援車」は全国的にもたいへん珍しく、関心を寄せる自治体などから見学者がひっきりなしだそうです。その取り組みを寄せていただきました。(編集部)

佐賀市久保田町「久保田まちづくり協議会」会長 夏秋 博隆

1973(昭和48)年法学部法律学科卒業

卒業時から佐賀県宮陵会会員としてお世話になっていました。現在は、地元ボランティア組織である「久保田まちづくり協議会」の会長をしています。本協議会では、外出弱者を支援する取り組みを実施していますので、この取り組みをご紹介します。

7. 運行に関する経費 軽自動車1台のリース料、運転手(4人)に対する若干の費用弁償、実績報告書(町内全戸配布)、通信費などに年間約180万円が必ず要です。これは

I 取り組みの概要

1. 実施者 久保田まちづくり協議会

2. 支援対象者 久保田町民で高齢者、運転免許証返納者、子育て中の人など、外出が困難又は支障がある人であれば誰でも可。(要、事前登録)

3. 運行形態 町民の善意と相互扶助の精神で、運行の全てをボランティアで実施

4. 運行範囲 町内一円であればどこでも可

6. 外出目的 何の目的でも可

7. 運行に際する経費 軽自動車1台のリース料、運転手(4人)に対する若干の費用弁償、実績報告書(町内全戸配布)、通信費などに年間約180万円が必ず要です。これは

8. 利用者 71人(令和7年10月末日現在)

9. 運行日及び運行時間 土・日・祝日、お盆期間及び年末年始を除く毎日、9時～12時、13時～16時に運行

10. 運行に際する経費 軽自動車1台のリース料、運転手(4人)に対する若干の費用弁償、実績報告書(町内全戸配布)、通信費などに年間約180万円が必ず要です。これは

11. 現在の状況 佐賀市久保田町(久保田校区)は、人口約7,200人で東西約3キロ、南北約7キロです。町内には、日常生活に必要な医院、歯科、スーパー、金

12. 現在の状況 佐賀市久保田町(久保田校区)は、人口約7,200人で東西約3キロ、南北約7キロです。町内には、日常生活に必要な医院、歯科、スーパー、金

13. 現在の状況 佐賀市久保田町(久保田校区)は、人口約7,200人で東西約3キロ、南北約7キロです。町内には、日常生活に必要な医院、歯科、スーパー、金

14. 現在の状況 佐賀市久保田町(久保田校区)は、人口約7,200人で東西約3キロ、南北約7キロです。町内には、日常生活に必要な医院、歯科、スーパー、金

15. 現在の状況 佐賀市久保田町(久保田校区)は、人口約7,200人で東西約3キロ、南北約7キロです。町内には、日常生活に必要な医院、歯科、スーパー、金

寄付金



夫婦でクリニックまで利用



趣味のサークル参加に利用



スーパーへ買い物に利用



宮陵会から功労賞を贈られた筆者(左) =25.9.6佐賀県宮陵会総会

久保田まちづくり協議会

電話0952(68)3130

近隣はもちろん、全国からも大きな反響があり、北海道から沖縄まで多くの視察があります。各方面からの視察は、当方の都合がつく限り受け入れています。当協議会は、他にもいろいろとユニークな取り組みを行っていますので、佐賀の観光を兼ねておいでください。歓迎いたします。

融機関などがそろっていますので、町内の運行で十分役立っています。この取り組みは、平成30年2月～3月の試行期間を経て、同年4月から本格運行を始めました。実施してから8年が経過し安定運営です。利用者とそのご家族はもとより、町民からも安心感があることで大変喜ばれています。

II 法令の遵守 実施に当たっては、佐賀陸運支局と入念な打ち合わせを行い、法令に抵触しない範囲(いわゆる白タク行為にならない範囲)で実施。陸運支局との協議は、約1年半を要しました。最大の難関でした。

III 現在の状況 佐賀市久保田町(久保田校区)は、人口約7,200人で東西約3キロ、南北約7キロです。町内には、日常生活に必要な医院、歯科、スーパー、金

IV 現在の状況 佐賀市久保田町(久保田校区)は、人口約7,200人で東西約3キロ、南北約7キロです。町内には、日常生活に必要な医院、歯科、スーパー、金

V 現在の状況 佐賀市久保田町(久保田校区)は、人口約7,200人で東西約3キロ、南北約7キロです。町内には、日常生活に必要な医院、歯科、スーパー、金

VI 現在の状況 佐賀市久保田町(久保田校区)は、人口約7,200人で東西約3キロ、南北約7キロです。町内には、日常生活に必要な医院、歯科、スーパー、金

VII 現在の状況 佐賀市久保田町(久保田校区)は、人口約7,200人で東西約3キロ、南北約7キロです。町内には、日常生活に必要な医院、歯科、スーパー、金

VIII 現在の状況 佐賀市久保田町(久保田校区)は、人口約7,200人で東西約3キロ、南北約7キロです。町内には、日常生活に必要な医院、歯科、スーパー、金

IX 現在の状況 佐賀市久保田町(久保田校区)は、人口約7,200人で東西約3キロ、南北約7キロです。町内には、日常生活に必要な医院、歯科、スーパー、金

X 現在の状況 佐賀市久保田町(久保田校区)は、人口約7,200人で東西約3キロ、南北約7キロです。町内には、日常生活に必要な医院、歯科、スーパー、金

XI 現在の状況 佐賀市久保田町(久保田校区)は、人口約7,200人で東西約3キロ、南北約7キロです。町内には、日常生活に必要な医院、歯科、スーパー、金

XII 現在の状況 佐賀市久保田町(久保田校区)は、人口約7,200人で東西約3キロ、南北約7キロです。町内には、日常生活に必要な医院、歯科、スーパー、金

2025
5/18(日)

宮陵会小池ゼミ六池会

かながわ労働プラザ



『地域組織だより』

2025年度に開催された
各地域組織の総会について
報告いたします。

2025
4/12(土)

瀬谷・泉区宮陵会

ゆめおおかオフィスタワー



2025
4/12(土)

港南区宮陵会

ゆめおおかオフィスタワー



2025
5/24(土)

札幌宮陵会

ホテルノースシティ



2025
5/24(土)

川崎市宮陵会

川崎市総合自治会館



2025
4/27(日)

ラグビー部OB会

神奈川大学附属中山中高キャンパス



2025
6/7(土)

京滋宮陵会

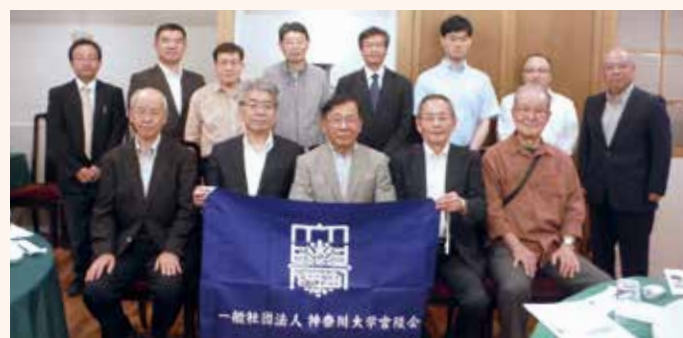
京都新阪急ホテル



2025
5/18(日)

秦野市宮陵会

ブランドホテル神奈中秦野



2025
6/14(土)

学士山岳会

神奈川大学 横浜キャンパス



2025
6/7(土)

横浜北宮陵会

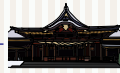
横浜市開港記念会館



2025
6/15(日)

茅ヶ崎・寒川宮陵会

ラスカ茅ヶ崎 ラスカサロン



2025
6/7(土)

藤沢宮陵会

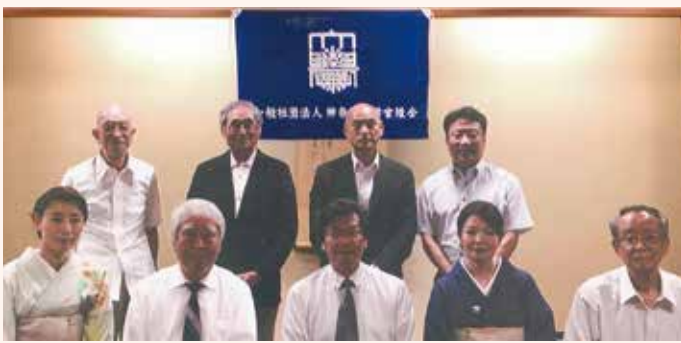
藤沢商工会館



2024
6/18(水)

箱根町宮陵会

ホテル おかだ



2025
6/14(土)

空手部OB会

神奈川大学 みなとみらいキャンパス



2025
6/21(土)

近畿ブロック会in和歌山県

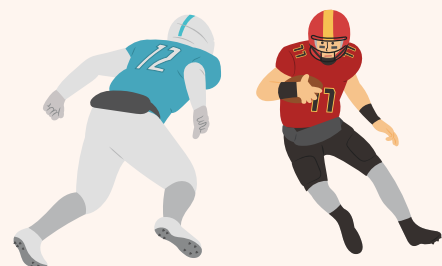
ホテルグランヴィア和歌山



2025
6/14(土)

アメリカンフットボール部OB会

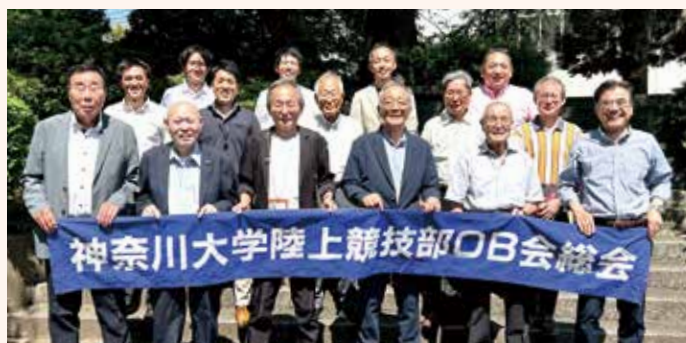
神奈川大学 横浜キャンパス



2025
6/28(土)

陸上競技部OB会

神奈川大学 横浜キャンパス



2025
6/21(土)

苦小牧宮陵会

なか善



2025
6/29(日)

フロイデコールレジェンド宮陵会

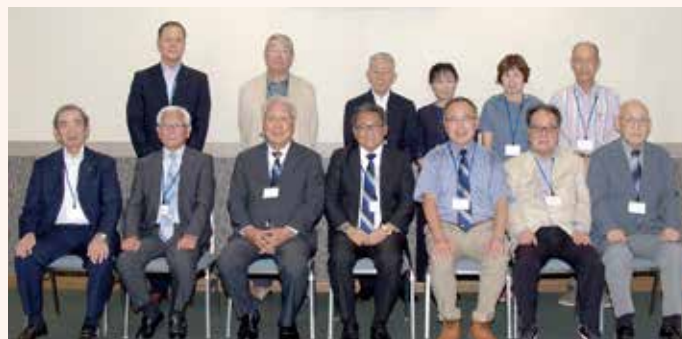
トラットリアバジル桜木町



2025
6/28(土)

北見宮陵会

ホテル黒部



2025
7/5(土)

群馬宮陵会

エテルナ高崎



2025
6/28(土)

熊本県宮陵会

鶴屋百貨店



2025
7/5(土)

大阪奈良宮陵会

大阪ガーデンパレス



2025
6/28(土)

町田宮陵会

ぽっぽ町田



2025
7/6(日)

三浦半島宮陵会

横須賀市立勤労福祉会館



2025
7/5(土)

鳥取伯耆宮陵会

米子ニューアーバンホテル



2025
7/12(土)

栃木県宮陵会

ホテルマイステイズ宇都宮



2025
7/5(土)

保土ヶ谷・旭区宮陵会

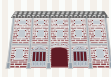
神奈川大学 横浜キャンパス



2025
7/12(土)

群馬東毛宮陵会

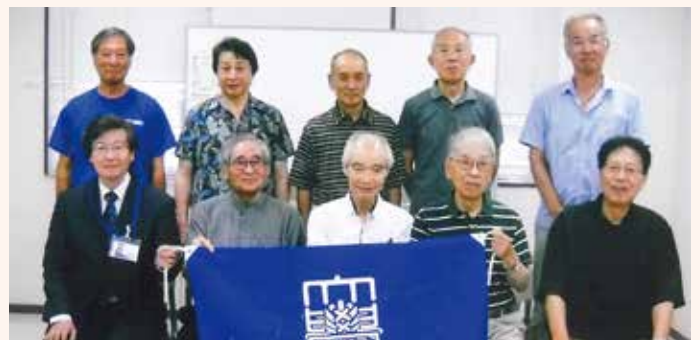
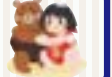
ホテルモンテローザ太田



2025
7/5(土)

南足柄宮陵会

南足柄市女性センター



2025
7/12(土)

バスケットボール部OB会

神奈川大学 みなとみらいキャンパス



2025
7/5(土)

弓道部OB・OG会宮陵会

グレースバリ横浜関内店



2025
7/26(土)

山形県宮陵会

山形国際ホテル



2025
7/18(金)

神奈川大学学内宮陵会

神奈川大学 みなとみらいキャンパス



2025
7/26(土)

兵庫県宮陵会

湊川神社内 楠公会館



2025
7/19(土)

三重県宮陵会

ホテルグリーンパーク津



2025
7/26(土)

神奈川・鶴見区宮陵会

神奈川大学 横浜キャンパス



2025
7/19(土)

福岡宮陵会

福新樓



2025
7/27(日)

男子ラクロス部OB宮陵会

神奈川大学 横浜キャンパス



2025
7/26(土)

旭川宮陵会

トーヨーホテル



アルパカとの邂逅^{かいこう}

風景写真家

松井

章(49歳)



標高4300mのアンデス高原で出会ったアルパカ



まつい・あきら
1977(昭和52)年東京生まれ。
2000年外国学部スペイン語学科卒業。学生時代から南米専門の山岳旅行会社を運営する傍ら、「南米大陸の幻想風景」をテーマに風景写真家として活動を続ける。日本写真家協会会員。

大学3年生のとき、私は南米を放浪していました。旅の途中、アンデス山脈の高原で初めてアルパカと出会いました。冷たい風の中、長い首を伸ばし遠くを見つめる姿に、愛らしさとは裏腹の、過酷な自然を生き抜く気高さを感じたものです。

アルパカは人と共に生きて約6000年。山岳民族と暮らすその姿は、家畜というより家族のような関係性を思わせます。それは人がかつて自然との共生の術を見出していたことを実感させる風景でした。

南米への旅を思い返すたび、あのアンデスの光景が心に浮かびます。大学で学んだスペイン語は、私に南米から世界を眺める視点を与えてくれました。



リレーエッセイ vol.7

「もう1日だけ頑張ってみよう」

Masumi Yamamoto (山本 真純)



「私は幸せだと思います」

アメリカでミュージシャンになることを夢見て神奈川大学卒業後ロサンゼルスへ渡り、夢が叶い、ミュージシャンとして活動していました。しかし、コロナ感染拡大により2020年に帰国を余儀なくされ、後ろ髪を引かれる思いで帰国しました。

帰国直後は私だけではなく世界中が混乱していて、言ってみれば「静かに息をすること」で精一杯のような日々だったように思います。そんな状況でも十数年ぶりに家族と一緒に過ごせる毎日は、とても幸せでした。その一方で、アメリカから離れてしまったことで一人になり、日本で音楽を続けられるのか不安で、突然夜中に涙が止まらなくなる時もありました。しかし「前進あるのみ」と母が言ってくれたことをきっかけに迷っていた心が一気に晴れ、再び走り出しました。

「アメリカで制作した楽曲を皆さんに聴いてもらいたい!そのため私は私が止まっているわけにはいかな

い。ここまでやってきたんだから、何でもできる!」、と自分を鼓舞し、再び信じることにしました。そしてそれは今も変わりません。

2024年は神大横浜キャンパスで、昨年は横浜市開港記念会館で、両公演を神奈川大学宮陵会から主催いただき、ロサンゼルスからグループを呼び、皆さまに演奏をお聴きいただきました。特に昨年の横浜公演を含む全国7都市ツアーでは、各地で神奈川大学同窓生の皆さまが応援に



宮陵会主催のコンサート終了後、聴衆の大歓声を浴びて感無量の筆者(=2025年10月、横浜市開港記念会館)

駆けつけてくださり、初めてお会いするのに「家族と再会」のような一体感で幸せな時間でした。

大学を卒業する時に一人で描いた「アメリカでミュージシャンになって音楽をしたい」という小さな夢がこんなにも大きくなり、たくさんの方が応援くださり「私は幸せだなあ」と心から思います。

「マズミさんは自分がラッキーだなあと思ってるでしょ?」と聞かれたことがあります。そうです、確かにそう思います。どんな時も「自分は人に恵まれていて、たくさんの人に支えられていて幸せ」と。夢は1人では叶えられないものだと、夢や目標が大きくなるほど実感します。自分の望むタイミングや形で実現しなかったりすると「失敗した」と思うのです。そんな思いを何度もして、「ここで諦めようかな?」と思うのですが、諦めることはそのまま頑張ってきた自分を否定している気がして、「もう1日だけ頑張ってみよう」と思い、その「もう1日」

が積み重なって今日に繋がっています。「自分を諦めずに信じ続けること」で周りの人の気持ちを動かし、一緒に夢を叶え、その結果「私は人に恵まれている」と感じ、その感謝の気持ちに恩返ししたいと思いがながら演奏しています。

冒頭の「私は幸せだと思います」は、私にとつて今日も悔いなく一杯頑張った自分への賛辞の言葉。そして幸せを感じさせてくれる愛する皆さまのおかげです。(撮影:市川亮)



舞台上でサクソフォーンやベース、ドラム奏者と共演する筆者(同)

やまもと ますみ
神奈川大学外国学部英語英文学科卒業。新潟県長岡市出身。Masumi Yamamoto名義でジャズピアノ・作曲家として活動中。大学卒業後渡米し、楽曲が全米ビルボードチャートで最高位4位にチャートイン。2020年の帰国以来、日本全国へ活動の幅を広げる。

世代を超えた音楽の絆と響

管弦楽団OB会副会長 曾根田 清

2025年11月、横浜キャンパス学生食堂にて、戸田龍介学長、佐藤武宮陵会事務長の祝辞のもと、神奈川大学管弦楽団創設50周年パーティーならびにOB・OG会発足を総勢170名以上参加のもと盛大に開催致しました。

私は宮陵会報「Kyu-Ryo」を毎号楽しみにしている読者でした。各クラブ、サークルのOB会が活発に活動されていることを目にし、いつか管弦楽団もこの仲間入りが出来ればと思いつきながら、十数年以上の長い年月が経過してしまいました。



学長挨拶

佐藤事務長挨拶

今回、きっかけとなった出来事は、昨年が当管弦楽団にとって創設50周年であったこと、更に、久しぶりに現役生の定期演奏会を聴きに行き感銘を受けたことからでした。コロナ禍に活動が大幅に制約され団員数も減っていたと思いますが、現在は私が所属していた頃よりもはるかに

大所帯(約90名)、演奏レベルも大変に向上し、若さあふれるダイナミックな演奏に、自分が学生時代に演奏していた当時の気持ちに戻されました。還暦を翌年に控えていた私にとって、昔在籍していたこの管弦楽団に対して今出来ることは無いかと思つた時、長年抱いていた、このキャンパスで音楽を受け継いできた仲間の輪OB・OG会を作ろう、更に卒業後も演奏を楽しめる受け皿となるOB・OGオーケストラを作ろうと決心しました。

昨春から人集めの活動を始めました。しかし、個人情報保護の観点から卒団名簿が保存されていないこと、意外と卒業してからの縦横の繋がりが少ないことに苦労しました。その中、同期、先輩後輩、神大職員となったOB・OGらが協力して、総勢800名近くいる管弦楽団卒業生の約四分の一の方々との連絡を取ることが出来るようになり、今回、宮陵会同好組織としてOB・OG会を発足し「管弦楽団Alumni」という名称で登録することが出来ました。

50周年パーティーでは、演奏会し

か活動の場が無かった私達からは想像できない幅広い現役生の活動(箱根駅伝応援、近隣学校・施設の演奏等)のビデオ上映、OB・OGアンサンブル・現役生の演奏、指導者の方々からのメッセージ、そして歓談タイムを通して現役生とOB・OGの交流が図れました。最後に現役生とOB・OGとの合同演奏、曲目は当団での演奏回数が多くブラームス交響曲第一番。演奏者は十代の現役生から七十歳を超えるOB・OGまで幅広い年齢層、今も演奏を続けている人や卒業以来久々に楽器を手にした人など楽器経験もさまざまメンバーによる一発勝負の通し演奏。現役生の指揮のもと、幅広い世代の演奏者が心を一つに音楽を奏でた時間でした。演奏が終わった瞬間、全員が演奏の疲れの中にやり遂げた表情と心が一つの輪になれた感情が相互を称える拍手となって学食に鳴り響いたことが今も心に残っています。

今回をきっかけに更にこの



合同演奏



現役生演奏



集合写真

絆が広がり、箱根駅伝のように、「音楽」という響が今後の世代へ繋がっていくことを願っています。OB・OG会連絡先: kuorch-alumni@kanagawa-u.ac

そねだ きよし
1966(昭和41)年神奈川県横浜市生まれ。1990(平成2)年工学部工業経営学科卒業。同年日本アイ・ピー・エム(株)入社。2020年TD SYNEX(株)入社。



仕事、家庭、競技の「三刀流」で挑む アマチュア日本一への挑戦

株式会社シノダ 柴田 大輔

私がトライアスロンに出会ったのは、大学2年生の頃です。もともと神奈川大学が駅伝の名門であることに影響を受け、入学後は陸上サークルRUN31で長距離走に取り組んでいました。転機となったのは、専攻していた人間科学部での出会いです。周囲にはすでに競技で実績を持つ人や、世界を見据えて活動する学生が多く、その高い志に強い刺激を受けました。

「自分も初心者からインカレという頂点を目指したい」。その一心でトライアスロン部へ移籍。4年次には目標だった日本学生選手権（インカレ）への出場を果たしました。この経験は大きな自信になっただけでなく、競技を通じて広がった人とのつながりや多様な価値観は、今の私を支える大きな財産となっています。

卒業後は、内装材料の卸売を担う株式会社シノダに入社しました。コロナ禍という不安な情勢下でのスタートでしたが、配属先の店舗が

年々成長していく中で、現場に関わる実践的な経験を積んできました。主にお客さまから依頼を受けた内装材料について、メーカーや各協力会社と連携を取りながら手配を行い、確実に納期を守って現場へ納品する業務を担当しています。

多くの関係者と調整を重ねる日々の中で、責任ある役割を任せられることにやりがいを感じています。仕事をやる上で常に意識しているのは、学生時代に学んだ「小さな目標を立てて行動し続けること」と「良好な人間関係を築くこと」です。一見当た



4年次に悲願だった日本学生選手権に出場

り前のことですが、こうした姿勢が日々の業務や周囲との信頼関係の土台になっていると感じています。

トライアスロンは社会人となった今も継続しており、平日は出勤前に1時間半、休日は4時間の練習を欠かしていません。限られた時間を工夫して使うことで、学生時代よりも競技力は向上し、伊豆大島や新島の大会での総合優勝、アマチュア世界選手権への出場など、着実に実績を積み重ねてきました。

直近では「IRONMAN」と呼ばれる長距離種目を主戦場としていますが、競技人生の目標はエイジグループ日本選手権での総合優勝、つまり「アマチュア日本一」です。最高順位は17位、頂点まではまだ距離がありますが、挑戦し続ける姿勢を大切にしながら、仕事、家庭、競技の「三刀流」を貫いていきたいと考えています。

好きなことに全力で取り組める環境に感謝しつつ、自分自身が思い描く「満足のいく人生」を歩んでいきたいです。そして、その姿が周囲の人にも良い影響となれば嬉しく思います。



アマチュア世界選手権出場時。右から2人目が筆者

しばた・だいすけ
1997(平成9)年生まれ。神奈川県大和市出身。2020(令和2)年人間科学部人間科学科卒業。同年、株式会社シノダ入社、現在に至る。



勤務先のシノダで

神大卒業からオーケストラ指揮者へ

指揮者 飯塚 正己

いづか・まさみ
1963(昭和38)年12月21日東京都品川区生まれ。1988(昭和63)年工業経営学科(小黒研)卒。同年住友電気システムエンジニアリング(株)(現住友電気システムソリューション(株))入社、その後転職、起業。在職中に大阪芸術大学通信教育部音楽学科クラシック音楽専攻(作曲)に入学したのち、16年間にわたり音楽の専門教育を受け現在に至る。



アマチュアオーケストラにてヨハン・シュトラウス二世のワルツ「美しく青きドナウ」を指揮(2025年2月)

学生生活

神奈川大学に入学し、アカデミックで多様な人のいる世界に入りワクワクした日々が始まりました。そんな中、昨年創設50周年を迎えた管弦楽団と出会い、初めて触る弦楽器の音、特に低音に惹かれ、コントラバスを担当するようになり、新しい文化に傾倒してゆきます。

社会人としてのスタート

それなりに色々あった学生生活でしたが、卒業間近になったころ、3号館の研究室の廊下から白楽の町の



アマチュアオーケストラにてチャイコフスキー悲愴交響曲を指揮(2025年4月)

夜景を眺め、ここで長い時間を過ごしてきたんだと、感慨に耽っていました。卒業後は、社会公共システムを手がけるメーカー系の企業へ就職。社会を動かす大きな仕組みへの関わりを感じていました。一方、学生時代の積み重ねで楽器の演奏も

趣味として続け、市民オーケストラに活動の場を移します。仕事はあつとゆう間に10年が過ぎ、一度の転職を経て荒波に揉まれていたころ、ある通信制の大学で音楽の勉強ができることを知り、ふいに時間が止まったような感覚になり、すぐに勉強を始めることに。その時は分からなかったのですが、ここが転換期となり人生が大きく逆回転してゆくことになりました。

音楽への想い、学びなおし、大阪芸大

大阪芸術大学通信教育部音楽学科クラシック音楽専攻(作曲)へ40代で入学。ある日の授業の中で「将来になりたい自分」について問われ、「60歳までに指揮者になりたい」と答えたところ、教授は真顔で「それは可能です」と仰り、この言葉はその後の自分にとって確実に何かの支えになってゆきました。

その後、かの小澤征爾も学んだ桐朋学園大学の指揮コース(社会人受験)へ進み、ここで3年を修了、その後、別の音大のコースでも4年間学びましたが、想像していた通りの厳しい世界で、「君の弱点は、音大で採まれていないことだ。」と指摘されていたことの意味を知ることになりました。

機会を頂く(神大時代のトレーナー)、指揮活動の始まり

神大管弦楽団で指導されていた東京都交響楽団(当時)の山元富雄先生の紹介で小さな市民オーケストラの指揮者に就任。経験も無く勉強中の私と二人三脚で演奏会を作り上げてゆくという貴重な機会を頂いたことはとても有難い事で、現在もお付き合いを続けています。また、映画『オケ老人』の制作では指揮指導など音楽面でかかわることができました。

欧州渡航、父との別れ

コロナの流行もひと段落したころ父が亡くなり、父が残してくれた資金で、ひと月半ほど欧州で指揮のマスタークラスを受けました。世界中から様々な年齢層の方が集まり、情熱をもって指導しているマエストロ、レッスンに協力するプロ奏者のレベルの高さと、指揮への反応の熱さを実感できたことは、かけがえのない財産となりました。亡き父に感謝。

再び神大へ

2025年10月、神奈川大の管弦楽団OBと教職員によるオーケストラ・カメラータ神大が学園祭で演奏をする際、指揮者として起用頂けたことには特別な思いがありました。人と人との繋がりと仲間を思う温か

い心遣いに感謝し、今後も大切にしたいと思いました。

久しぶりに白楽駅から神大への道を歩いて、懐かしい気持ちと、そこに通う若き学生たちの様子に自分を重ね、そこからの長い人生の道のりを思い、幸せな気分を味わえました。プロオーケストラを指揮できない指揮者はプロとは言えないという考え方もあるなかで、今のところその筋道は立っていないが、アマチュアを指導することも、立派な仕事ではないかとも。結局のところ、自分の仕事に誇りが持てるかどうかではないだろうか。

少ないながらも収入があり、家族を大切に人生を歩んで行けるなら、自分が目指す人生の目標に向かって進んでいくと、自信を持つて言えるのではないか。人生の目標とは、よい仕事をして、自分と家族と周囲の人を幸せにすること。そう思っ毎日を過ごしています。



ウィーンにおけるマスタークラスの成果発表コンサートのポスター。プロのオーケストラでベートーヴェンの交響曲第7番を指揮した(2022年7月)

二つのゼミで学問的関心を深く追求

京浜急行電鉄株式会社勤務

藤原 佳枝

私は宮城県登米市で生まれ育ちました。高校3年生でコロナ禍を迎え、情熱を注いでいた部活動も制限され、自宅で過ごす時間が増える中で、自身の将来や生き方について考えるようになりました。「このまま地元で進学すれば、宮城県から出ない人生になるのではないか」。そう感じ、大学の4年間だけでも首都圏で新しい環境に身を置きたいと考えました。多様な文化や価値観が集まる横浜、そしてみなとみらいにキャンパスを構える神奈川大学に魅力を感じ、進学を決めました。余談ではありますが、父親が若い頃に横浜で働いていたことや、矢沢永吉の成り上がりを讀んだことから、横浜での生活に憧れを持つようになりました。

経営学部に入学したものの、コロナ禍の影響で大学生活はリモート講義が中心で、思い描いていた学生生活とは異なる日々が続きました。その中で「何かに挑戦しなければ何も始まらない」と感じ、行動を起こすようになります。私はすでに自学のゼミに所属していましたが、リモート講義を通じて国際日本学部の平山昇先生と出会いました。その講義に強い関心を抱き、自ら先生に直接談判した結果、他学部生でありながら、平山ゼミナールに「単位なしの公式モグリ」として在籍することを認めていただきました。

こうして2つのゼミに並行して所属するという決断は、自身の学問的関心をより深く追究したいという思いから下したものであり、この経験は私の大学生活における大きな転機となりました。最初のゼミ活動では、当時カジノ法案を巡る議論の中で注目を集めていた藤木幸夫さんの講演会に参加し、その生き様に強く心を打たれました。「もっと直接話を聞きたい」という思いからご本人に働きかけ、私を含むゼミ生3人で座談会という形でお話を伺うことができました。対談内容をまとめた記録は国際日本学部のホームページに掲載され、活動の成果を形として残すことができました。

大学3年次の2024年1月1日に発生した能登半島地震をきっかけに、個人的に輪島でのボランティアにも参加しました。現地で見聞きした光景や声は、今も鮮明に心に焼き付いています。横浜にいる学生にも災害の現実について考えてもらいたいという思いから、能登復興支援に取り組む岩城慶太郎さん（アステナホールディングス元代表取締役社長）を神奈川大学にお招きして講演会を企画しました。最前線で活動されている方の生の声は、参加した学生にとって災害を決して他人事ではないものとして捉える貴重な機会となりました。

現在は京浜急行電鉄に入社し、駅係員として勤務しています。大学時代に培った「自ら考え、動く姿勢」を大切にしながら、日々の業務に向き合っています。



講演会后に講師の藤木企業株式会社取締役相談役の藤木幸夫さんと



平山ゼミの仲間たち(前列左から4人目が筆者)

ふじわら・よしき
宮城県登米市出身。2025年経営学部国際経営学科卒業。現在は京浜急行電鉄株式会社に勤務。人とのつながりを大切にしながら、日々の業務に取り組んでいます。



「変電所にブーンという音がして 電気が通った！」

株式会社関電工 山崎 裕眞

やまざき・ゆうじん
1998年(平成10)生まれ。神奈川県横須賀市出身。2021年(令和3)工学部電気電子情報工学科卒。同年、株式会社関電工入社。送電線施工チームに配属され異動を経て送電線部に所属。現場管理業務等に従事し、現在は主に DX 関連業務を担当。



会社の畑同好会で採ったサツマイモと自分

生まれは東京でしたが、2歳で横須賀へ移住し20歳まで横須賀で暮らしました。埠頭からほど近い家で、決まった時間に汽笛が鳴るのですが、これが聞こえると遅刻ギリギリだという合図で、毎朝ダッシュで登校していました。

小学校までは伸び伸びと過ごしていましたが、中学では先生との関係に悩み、学校から距離を置く時期がありました。高校進学にあたり電気であれば職に困らないという母の助言により、工業高校の電気科に入学しました。大学に行くか、良い所に就職できるように頑張りなさいという檄で一念発起し、学科首位を争う好成绩を取るようになりました。また、バイトや資格、部長、委員長などさまざまな仕事を熟し、打って変わって真面目人間に。



ミヤマエンレイソウ
(北海道出張の余暇の際に礼文島にて撮影)

そんな折に母がガン

と診断され、母子家庭のため進学を迷いましたが、奨学金や制度を教諭から紹介いただき進学することになりました。そこからは母のサポートをしながら勉強バイトととにかくがむしゃらでした。

大学に進学してからも昼は講義と学内バイト、夜は別のバイトを掛持ちし夜勤もやり忙しい日々でした。その中で手話サークル303が憩いの場で、昼休みに部室で各々が別のことをやっている感じが心地よい場所でした。

情報が電気の道に進むかを迷っていました。情報の検定や、電気工事を高校で取得しており、どちらの仕事か決めなければという気持ちがありました。そうして悩んでいる中、母が亡くなり妹と二人きりに。将来の需要も考え電気を選び、規模の大きな仕事に携われる関電工を志望しました。コロナ禍の就活でしたが、学生課のサポートもあり無事に早期の内々定を得ることができました。

入社後配属されたのは送電線施工チームでした。この部署では鉄塔の工事を主としており、初めての仕事は東日本に点在する鉄塔を回る、周辺設備の保守業務でした。

その後の北海道の仕事では、広大な自然と現場に圧倒されました。運開に立ち会うこともできました。電気設備の施工後、各種試験を経て電気を通す工程が運開です。それまで静かだった変電所にブーンという音がして電気が通った！と感動しました。

現在は紆余曲折を経て、送電線部でDX関係の仕事に携わっています

す。学生の頃学んだプログラミングを活かしてソフト開発や、機器の試験をしています。運転支援システムの開発では電気新聞という電気の業界紙で取り上げられました。そんな世の中になれないものを作る面白い仕事にも関わっています。

電気電子情報工学科は電気のこととは何でもやる学科です。分野を絞らず勉強できたことで仕事の幅も広がったと思います。また、建学の精神である「質実剛健、積極進取、中正堅実」は私を鼓舞し時には邪な考えを挫き、正道を示してくれています。



仕事風景鉄塔



プライベート万博記念公園(妻と)

2025
9/27(土)

北陸ブロック会in富山県

ホテルグランテラス富山



2025
8/30(土)

石川県宮陵会

ホテル金沢



2025
9/27(土)

静岡西部宮陵会

呉竹荘



2025
8/30(土)

ヨット部OB会きさらづ会

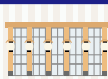
江の島ヨットハーバー



2025
10/4(土)

信州宮陵会

アルピコプラザホテル



2025
9/6(土)

北海道ブロック会in帯広

ホテル日航ノースランド帯広



2025
10/4(土)

岐阜県宮陵会

岐阜キャッスルイン



2025
9/6(土)

佐賀県宮陵会

四季彩ホテル千代田館



2025
10/18(土)

大分県宮陵会

トキハ会館



2025
10/4(土)

岡山県宮陵会

ホテルエクセル岡山



2025
10/18(土)

西多摩宮陵会

ホテルエミシア東京立川



2025
10/11(土)

九州・沖縄ブロック会in佐世保

レオプラザホテル佐世保



2025
10/19(日)

愛知みやも会

東京第一ホテル錦



2025
10/18(土)

四国ブロック会in徳島県

ホテル眉山海月



2025
10/25(土)

神奈川県ブロック会

神奈川大学 横浜キャンパス



2025
10/18(土)

鳥取因幡宮陵会

鳥取シティホテル



2025
11/8(土)

室蘭宮陵会

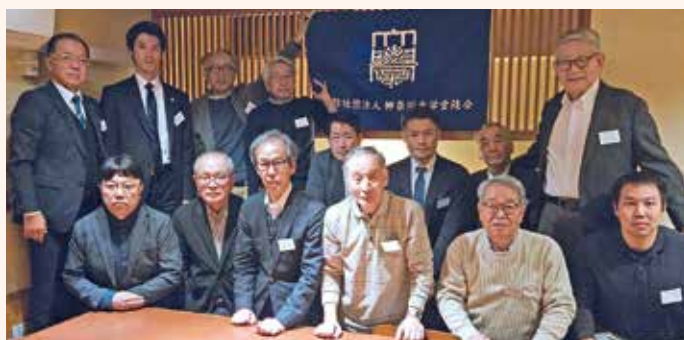
室蘭そのべ さくら亭



2025
10/25(土)

福島県宮陵会

生喜 和創菜 月亭



2025
11/8(土)

相模原宮陵会

ユニコムプラザさがみはら



2025
11/1(土)

レスリング部OB・OG会

神奈川大学 横浜キャンパス



2025
11/8(土)

クリエイトメディック宮陵会

神奈川大学 横浜キャンパス



2025
11/7(金)

函館宮陵会

ホテルリソル函館



2025
11/8(土)

社労士宮陵会

神奈川大学 横浜キャンパス



2025
11/8(土)

東北ブロック会in秋田県

ANAクラウンプラザホテル秋田



2025
11/15(土)

千葉県宮陵会

Y'sバイキングレストラン海浜幕張店



2025
11/8(土)

卓球部OB会(卓友会)

神奈川大学 横浜キャンパス



2025
11/15(土)

広島県宮陵会

広島ガーデンパレス



2025
11/8(土)

マンドリンアンサンブルOB会

横浜市六角橋地域ケアプラザ



2025
11/15(土)

沖縄県宮陵会

沖縄県教職員共済会館



2025
11/15(土)

中国ブロック会in鳥取伯耆

国際ファミリープラザ



2025
11/16(日)

青森県宮陵会

わいん倶楽部



2025
11/15(土)

新潟県宮陵会

万代シルバーホテル



2025
12/6(土)

柔道部OB・OG会

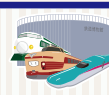
中華街 桂宮



2025
11/22(土)

埼玉県宮陵会

久喜市三高サロン



2025
12/8(月)

会計人宮陵会

神奈川大学 横浜キャンパス



2025
11/29(土)

北九州宮陵会

ホテルクラウンパレス小倉



2025
12/13(土)

観光宮陵会

横浜市開港記念会館



2025
11/29(土)

シェイクスピア英語劇研究会OB会

神奈川大学 横浜キャンパス



2025
12/13(土)

ボクシング部OB会

神奈川大学 横浜キャンパス



2025
12/6(土)

山口県宮陵会

山口グランドホテル



2025
1/24(土)

硬式野球部OB会

神奈川大学 横浜キャンパス



2025
12/20(土)

宮城県宮陵会

ホテル白萩



2025
1/31(土)

磯子・金沢区宮陵会

横浜市社会教育コーナー



2025
1/3(土)

香川県宮陵会

リーガホテルゼスト高松



2025
2/1(日)

サンパウロ宮陵会

レストラン 揚げカズ(AGEKAZU)



2025
1/4(日)

吹奏楽部OB会

横浜みなとみらいホール大ホール



2025
2/14(土)

鹿児島県宮陵会

さつま路



2025
1/24(土)

釧路宮陵会

釧路センチュリーキャッスルホテル



2025
3/14(土)

島根県宮陵会

サンラポーむらくも



2025
2/21(土)

岩手県宮陵会

ホテルメトロポリタン盛岡



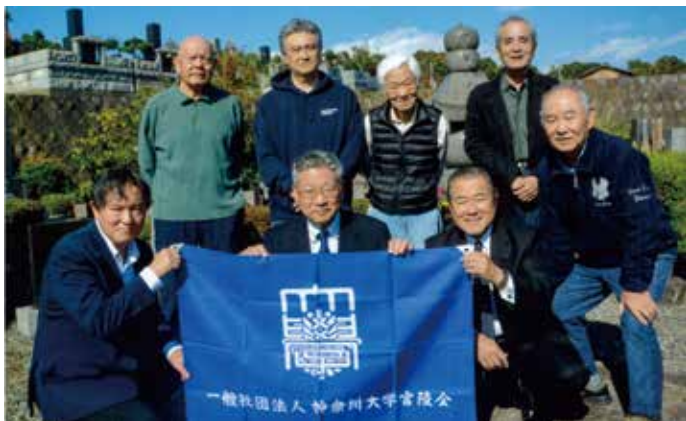
2025
3/7(土)

宮崎県宮陵会

アートホテル宮崎スカイタワー



地域組織からのお知らせ



港南区宮陵会墓参会



港南区宮陵会墓参会平能家

〈港南区宮陵会〉—— 神大創立者、米田吉盛先生の墓参会を実施

港南区宮陵会会長 **和知 親裕**

1988(昭和63)年 経済学部貿易学科卒

神奈川県の港南区宮陵会は昨年11月10日、米田吉盛先生の眠る横浜市港南区の日野公園墓地で墓参会を行いました。米田先生の生誕日に合わせて行う港南区宮陵会の恒例行事で、会員9人が参加。墓地周辺の草取りなどの清掃を行った後、花を手

向けて大学のますますの発展に寄与することを誓いました。最後に応援指導部OBの石田順夫さんの先導で、校歌を声高らかに斉唱しました。大学が米田先生の命日5月17日

の「吉盛忌」で挙行する墓参とともに、未永く続けていきたいと考えています。

なお、秋の墓参会を始めた元宮陵会副会長で、前港南区宮陵会会長の故・平能孝一さんが昨年4月にご逝去されました。偶然にも平能さんのお墓が日野公園墓地にあり、米田先生の墓参会の後に平能さんの墓参りも行いました。今後の墓参会はお二人をお参りすることになりそうです。

横浜市開港記念会館について

— その学ぶべき価値とその魅力 —

横浜市開港記念会館名誉館長 内田 青蔵

はじめに

神奈川大学は、2024年4月から株式会社神奈川新聞社と相鉄企業株式会社との3社の共同事業体「ソーシャルアカデミックマネジメント」の一員として、横浜市中区に位置する横浜市所有の横浜市開港記念会館（旧開港記念横浜会館）の指定管理者となり、その運営にあたってきた。それは本学が地元に着した大学として、これまで以上に港町・横浜の魅力を高めるための地域貢献の可能性を得たことを意味するのである。とりわけ、「ジヤック」の愛称で市民に親しまれている横浜市開港記念会館は、震災・戦災を逃れて現存する港町・横浜の歴史を伝える貴重な歴史的建造物である。その個々の歴史とともに、わが国の公会堂建築の先駆けとして国の重要文化財に指定されている。

こうした横浜を代表する歴史的建

造物の指定管理者となったからには、神奈川大学に係わるわれわれにも、この建物の伝える歴史や価値を理解しながら積極的に活用することが望まれているように思う。そこで、簡単にこの建物の沿革を紹介し、その価値と魅力に触れてみたい。そしてこれを機に横浜の歴史的建造物の理解を深め、また、かつて親しんだ母校とその立地する横浜を思い出していただければ幸いである。

横浜市開港記念会館の沿革

○初代建築の町会所について

横浜市開港記念会館の初代の建物は、明治7（1874）年に建設された横浜町会所と呼ばれるものである。貿易商人たちがお金を出し合っで建設した木造の骨組みに外壁として石材を張り付けた木骨石造2階建ての建物で、横浜3大洋風建築のひ

とつといわれたものであった。今日、われわれが当たり前として見ている現代建築のルーツがこうした建築から始まるのであり、その代表的建築という訳である。この横浜町会所は民間の建築であったものの、建物正面に高い時計塔を備えた新時代を象



横浜町会所 明治7年 設計：プリジンス(横浜開港資料館所蔵写真)

徴する洋風建築であったことから、市民の人々に親しまれ、タウンホールとしての役割も担っていたのである。

ただ、港町・横浜のランドマークとしても市民に親しまれていたが、明治39（1906）年に隣家の失火で焼失してしまった。当時、横浜市が誕生して新しいタウンホールとして横浜市役所が利用されてはいたものの、親しんだタウンホールを失った市民たちからは、再建を求める声があがった。奇しくも横浜市は、3年後の明治42（1909）年に横浜開港50年記念事業を予定していた。そこで、急遽市民の要望にこたえるために、予定していた記念事業として開港記念横浜会館の建設を決定したのである。

○2代目の開港記念横浜会館の建設

市民の求めた町会所の2代目となる開港記念横浜会館の建設にあたっては、大正2（1913）年に設計競技を実施し、ふさわしい計画案を広く求めることとなった。その結果、当選案は、初代の建物を彷彿とさせる高い塔を持ち、赤煉瓦と白い石のコントラストを特徴とする外壁からなる建築となった。それは、竣工したばかりの東京駅と共通した様式を採用したものだ。ちなみに、東京駅の設計者は日本人初の建築家辰野金吾で、辰野の得意な様式による当時流行の建築であった。



開港記念横浜会館設計競技1等当選案（設計：福田重義）

○震災後の復旧建築の姿

また、構造に関しては、地階はコンクリート構造、1階・2階は煉瓦と花崗石の混合積で、さらに耐震性を考慮して煉瓦壁の中には鉄材を挿入し、塔部分は鉄骨を用いるなど最新の工法を取り入れた建築であったのである。

工事は大正3（1914）年から始まり、3年もの歳月を経た大正6（1917）年ようやく竣工し、市民の歓迎を受けた。しかしながら、6年後の大正12（1923）年、関東大震災に遭遇してしまった。当時の横浜関内エリアは、大半の建物が倒壊し、また、その後の火災で焼け落ちた。そうした中で、この建物は内部に火が入り屋根と2階床などは消失したものの、塔と外壁は倒れずそのまま外観を保持して焼け残った。

横浜市では大きなダメージを受けた建物ではあったものの、壊さずに横浜のシンボルとして修復する方針を立てた。この計画を引き継いだ新市長の有吉忠一は、積極的に工事を早急に進め、昭和2（1927）年に完成した。修復工事では、外部意匠は屋根部分を除いて創建時のものとし、内部は煉瓦壁の室内側を鉄筋コンクリート造で補強し、併せて鉄筋コンクリート造の陸屋根を架けることで、より耐震性の高い建築となった。ただ、構造補強の処理のため、内部の意匠は大きく変わった。すなわち、竣工時の大正6年の建物は、内部意匠は明治期に主流だった様式建築の流れを汲む豪華絢爛な装飾豊かなものであった。一方、修復工事の行われた大正末期から昭和初期の建築界では、様式建築の特徴である豊かな装飾性を抑え、機能性を重視した建築がめざされていた。そのため、そうした時勢を受け、修復時の内部意匠は装飾性を抑えた、まさにその時代に求められていた新建築の姿が表現されているのである。言い換えれば、修復後の建築は、外部意匠は大正期、内部意匠は昭和初期という2つの時代の意匠を併存させたものとなり、建物の経た修復の歴史がそのまま表現されている歴史的建造物といえるのである。

○戦後：むすびにかえて

修復後の開港記念横浜会館は、戦災の被害を受けずに済んだ。そして、戦後はGHQに接収され、内部も米軍の使用に合わせた増改築がなされたが、解除後は再び、復原を目的とした工事が継続された。平成元（1989）年には失われていたドーム等の屋根部分を復原し、また、平成12（2000）年には横浜市の「横浜市福祉のまちづくり条例」の基づいた市民の憩いの場としての公会堂をめざし、トイレの増設やエレベーターの設置などが行われた。また、建物名称も昭和34（1959）年にそれまでの開港記念横浜会館から横浜市開港記念会館へと改め、今日に至っている。

いずれにせよ、横浜市開港記念会館は大正6年の竣工から数えると、100年を超える時を経た歴史的建造物である。現代建築に囲まれたその姿は、古風ながらも威風堂々とした日本の近代化を担ってきた横浜の歴史と文化を感じさせてくれる。こうした歴史性を表出する建築の存在こそ、現代都市・横浜の魅力を生み出している源であ



外観



エントランス



2階ホール

るといえる、われわれはこうした歴史と文化を内包する歴史的建造物を受け継ぎ、未来へと繋いでいくことが求められているのである。

うちだ・せいぞう 神奈川県立神奈川大学名誉教授、工学博士



私は神奈川大学を卒業した後、信州大学大学院を経て化粧品会社に就職しました。その経験を生かし、現在は神奈川大学職員として企業との共同研究などを通じ、研究開発課題を解決し、研究の社会還元を行う業務にあたっています。【肌つつみ】のように、研究が生かされた商品が出ることは、大きなやりがいとなります。卒業生の皆さんが所属する企業とも一緒にできればと思っています。

商品は好評発売中です。ぜひ一度お試しください。

2007(平成17)年工学部応用化学科卒業 宮坂佳那

神奈川大学が保有する特許技術「三相乳化技術」が通販生活など発行する株式会社カタログハウスのボディミルク「湯あがりセラミドミルク肌つつみ」に採用された。カタログハウスの「自社商品の特徴である高品質かつ天然原料を使用した、肌にやさしい商品を開発したい」という提案を受け、実現したもの。(詳細な商品内容はQRコードをご覧ください)

通販生活



カタログハウスから
新商品ボディミルク誕生
神奈川大学の特許技術「三相乳化技術」を採用

神奈川大学オリジナルコスメティックブランド

PROUDBLUE

大学の研究を日常にも…

そんな想いから誕生したPROUD BLUEコスメティックシリーズ

神奈川大学の特許技術『三相乳化技術』によって、人や環境にやさしい界面活性剤フリーのスキンケアを実現。

お肌に刺激となる成分を極力使用せず、赤ちゃんや敏感肌の方など、幅広い年代や肌質の方にお使いいただけるスキンケアを目指しました。

お肌にやさしいだけでなく、十分な水分を補うことで「肌が本来有している機能」を引き出し、健やかな肌へと導きます。



※モイストチュアハンドクリームは販売終了



KUパートナーズ

神奈川大学 100% 出資事業会社



Yahoo! ショッピングにて販売中

KU パートナーズ

検索



神奈川県箱根保養所

をご存知ですか



卒業生同士やご家族と、いつでも利用できます。料理の評判も良く、部屋も広く、しかも温泉です。近所には箱根を代表する多くの観光施設やゴルフ場、素晴らしい富士山の眺望が楽しめる金時山(きんときやま、標高1,212m)にも徒歩約2時間で登れます。予約は、利用日の2か月前から3日前までインターネットかファックスで受け付けています。



◆ご宿泊料金 1泊2食付 (税込/入湯税込)

		平日料金	休前日 繁忙期
宮陵会員及び同伴者	大人 (中学生以上)	¥8,400	¥9,500
	子供 (小学生)	¥3,300	¥3,575

〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町大字仙石原 1104-1
 電話 0460-84-9611、ファックス0460-84-9612
 URL. www.jindai-hakone.com

▼バス利用の場合

JR または 小田急線・小田原駅から仙石経由湖尻行き「仙石」停留所下車、徒歩10分。(約1時間)

▼車利用の場合

東名高速道路 御殿場IC～国道138号線～神奈川県箱根保養所。(約30分)



「給付奨学生」「大学院給付奨学生」

採用証交付式 行われる

一般社団法人神奈川大学宮陵会 専務理事 佐藤 武

宮

陵会は学部生及び院生のうち、勉強意欲があるにもかかわらず経済的に修学継続が困難な学生の修学支援を目的とした「学部生向け給付奨学金制度」や優秀な研究者養成を目的とした「院生向け給付奨学金制度」を設けています。いずれも、学費の

一部を給付する返済不要の奨学金制度。学部生へは一律年額25万円、院生へは文系で年額30万円、理工系で年額40万円を給付しています。

ここ数年は、国の公的な奨学金制度や神奈川大学独自の奨学金制度の充実などに伴い、宮陵会の給付奨学金制度を利用する学部生は漸減傾向にあるものの、ひとりでも多くの学部生や院生が良好な修学環境下で、安心して学修や研究が継続できることを願っています。

給

付奨学生は年度限りですが、在学中は次年度以降も出願できる制度です。学部生は前学期（第

Ⅰ期）と後学期（第Ⅱ期）の二回募集。院生は後学期の一回のみの募集です。25年度は年間を通じ、学部生2名、院生8名を奨学生に採用しました。

こ

の奨学生制度への募集や出願受付などの業務は学校法人神奈川大学に委嘱し、母校から推薦を受けた学部生や院生を、宮陵会三役による採用面接を踏まえ、宮陵会長が最終決定を行います。

写

真は昨年12月、宮陵会の主催する奨学生採用証交付式の模様です。宮陵会三役に加え、ご来賓として神奈川大学の学長や学生生活支援部長、事務局長、募集などに協力いただいた教育・学生支援部事務部長にもご臨席いただきました。（写真には写っていませんが、ほかに昨年7月に採用された第Ⅰ期学部生が一名おります）

こ

の交付式では、内田宮陵会会長が奨学生代表者に採用証を手交し、代表者からは「将来は中高

の教員を目指しており、この奨学金を胸に刻み今後も精進して参ります」「大学院で培った問題解決能力を活かし、研究成果に基づき現場の課題解決に貢献していきたい」と謝辞が述べられました。



奨学生採用証交付式後の集合写真

1928(昭和3)年の創立以来発展を続ける母校

その神奈川大学の足元、六角橋交差点付近の定点撮影
(=神奈川大学資料編集室提供)



1964(昭和39)年 1967(昭和42)年 1998(平成10)年 2025(令和7)年

「横浜学院開設の年(1928)に六角橋まで延伸された横浜市電は、六角橋を起点とする1系統、9系統、12系統が馬車道まで直通し、横専生・神大生に愛されました。そして…」



過去の宮陵会報から

神奈川大学の前身・横浜学院が横浜市中区桜木町に創立されたのは1928(昭和3)年4月で、その大学は再来年(2028)100周年を迎えます。一方、横浜専門学校同窓会として1937(昭和12)年に設立された宮陵会は、来年(2027)90周年を迎えます。そこで、節目を迎えるに当たり歴史を振り返る意味で、約50年前の大学の様子を知りたいと思い、1972(昭和47)年3月刊行の『宮陵会報』に目を通しました。そこに掲載されていた「歴史の教訓―神大ロックアウト事件に思う―」の一部(抜粋)を紹介します。筆者は前年(昭和46)に経済学部長から学長事務取扱に就任されたばかりの宮川武雄先生です。『宮陵』(No.74号、昨年4月発行「過去から未来へ」vol.2)や今号(No.75号、同特集vol.3)もご覧下さい。

(編集部)

神奈川大学は、昭和43年秋、実は40周年記念の祝典を盛大にやるはずでした。(中略)神奈川大学民主化運動の激発、進展が、43年1月にはじまり、それいらいまる4年が経過しました。大学紛争としては後発的でしたが、しかし、いろいろな経過を経て、今日にいたりました。(中略)大学の図書館ではもう書庫はパンクしそうだし、閲覧室はときには定員過剰です。教授研究室は足りません。あい部屋で、個別指導にも遠慮がちです。ゼミ指導室も、時間が来ると、つぎのゼミがおしかけ、待たねばという事態も起こります。学生会館はまだありません。パン食堂は立ちんぼうです。教室外活動のサークルは、部屋、共同室の欠落になやんでいます。

神奈川大学の前身・横浜学院が横浜市中区桜木町に創立されたのは1928(昭和3)年4月で、その大学は再来年(2028)100周年を迎えます。一方、横浜専門学校同窓会として1937(昭和12)年に設立された宮陵会は、来年(2027)90周年を迎えます。そこで、節目を迎えるに当たり歴史を振り返る意味で、約50年前の大学の様子を知りたいと思い、1972(昭和47)年3月刊行の『宮陵会報』に目を通しました。そこに掲載されていた「歴史の教訓―神大ロックアウト事件に思う―」の一部(抜粋)を紹介します。筆者は前年(昭和46)に経済学部長から学長事務取扱に就任されたばかりの宮川武雄先生です。『宮陵』(No.74号、昨年4月発行「過去から未来へ」vol.2)や今号(No.75号、同特集vol.3)もご覧下さい。



学生に占拠された入学式(1968.4)



ロックアウト中の大学(1971.11)



③通用門に出された立看板(1976.6)

(写真提供=神奈川大学資料編集部)



常民文化ミュージアム

常民文化研究百年の沿革と特長

神奈川大学国際日本学部歴史民俗学科 准教授
日本常民文化研究所 所員
丸山 泰明

◆ 洪沢敬三が抱いた 学問の夢

神奈川大学日本常民文化研究所は、学内のみならず、日本に数ある大学附属の研究所の中で極めてユニークな存在です。

はじまり
は、洪沢敬
三（1896
～1963）

が東京帝国
大学を卒業
したばかり
の1921年



神奈川大学日本常民文化研究所

につくったアチック・ミュージアムソサエティです。アチックとは屋根裏の意味です。東京の三田綱町にあった自邸の物置の屋根裏に、友人たちと化石や郷土玩具を集めていた標本室がベースとなりました。1925年にアチック・ミュージアムとなり、1942年の戦時下において日本常民文化研究所と改称します。

洪沢敬三は、日本資本主義の父・洪沢栄一の孫として生まれ、戦前は第一銀行副頭取をはじめとして各種の会社の重役を務めました。太平洋戦争中には政府に請われて日本銀行副総裁・総裁となり、占領期には幣原喜重郎内閣の大蔵大臣として財政・経済の復興に尽力します。戦後は国際電信電話社長・文化放送会長などをつとめました。

洪沢は財界の重鎮として活躍しましたが、少年時代の夢は大学で農学を学び学問をすることでした。けれども祖父洪沢栄一の懇願により大学では経済学を学び、実業の道に進みます。そんな洪沢が、学問の夢を取り戻すために、ポケットマネーでつくり運営したのが日本常民文化研究所でした。

◆ 在野の研究所から 神奈川大学へ

洪沢は、農山漁村や町で暮らす人々を「常民」として捉え、その歴史と文化の研究を志します。義理の従兄弟である農政官僚の石黒忠篤の後押しを受けながら、民俗学者の柳田国男や折口信夫、農業経済学者の小野武夫、民家研究者・考現学者の今和次郎などの研究者、そして全国の郷土研究家たちと交流しました。1933年には屋根裏から飛び出して専用の建物を建てます。大学を卒業した若者を雇って研究をさせ、日



洪沢敬三(1942年1月、アチック・ミュージアムにて)



本全国や朝鮮半島・台湾の総合調査を行い、膨大な書籍と古文書・昔の生活道具(民具)・生活を記録した写真と映像を収集しました。これらの資料の多くは、戦後、国に寄贈され、国立民族学博物館や文部省史料館(現在は国文学研究資料館に統合)を設立する際の礎となりました。

洪沢没後も財団法人として研究活動を続けました。しかし運営の困難に直面する中で神奈川大学に招かれ、1982年に大学附属の研究所として再スタートします。経済学部教授であり理事であった丹羽邦男が洪沢敬三の令息である洪沢雅英と東京大学農学部で同学年だった縁が、研究所を本学に結びつけました。経済学部教授の山口徹が所長となり、財団法人の理事・研究員だった河岡武春は経済学部教授になります。財団法人時代に研究員をつとめた古屋大学教授になって

いた網野善彦も短期大 学部教授として呼び寄せられました。こうして教員が所員を兼任し、事務職員とともに運営するようになって、す

に40年以上の歴史を積み重ねていま

◆受け継がれる精神

現在の研究所は、在野の時代から書籍や資料だけではなく、無形の精神も受け継いでいます。その要点を3つにまとめてみましょう。

第一は、個性を発揮しながら協力する精神です。洪沢は「人格的に平等にして而も職業に専攻に性格に相異なった人々の総和が数学的以上の価値を示す喜びを皆で共に味わいたい。ティームワークのハーモニクスアスデヴェロップメントだ」と



アチック・ミュージアム新館

も国際日本学部や経営学部、建築学部、人間科学部に所属する多様な専門の教員が所員となり、「日常茶飯」―日本人は何を食べてきたか―「便所の歴史・民俗に関する総合的研究」などの多彩な共同研究を実施しています。

第二は、資料と研究成果を占有せず、公共のものにする精神です。「資料を学界に提供する」という洪沢の

意思を継承し、学問の基礎となる資料の調査と収集を重視し、資料集の刊行、所蔵写真などのデジタルアーカイブでの公開を行っています。また、『民具マンスリー』を発行し、民具を研究する全国の研究者や博物館・資料館を結びつける役割を果たしています。毎年開催している古文書修復実習は、古文書の扱い方を学ぶ機会を長年に渡って全国の方々に提供してきました。横浜キャンパスにある常民文化ミュージアムでは、所蔵資料や研究成果を展示しています。入館無料ですので、来学の際にはぜひご観覧ください。

第三は、若者を育てる精神です。1993年には歴史民俗資料学研究所が、2020年には国際日本学部歴史民俗学科が開設されました。教員は研究所の所員を兼任し、密接に連携しています。学生や大学院生は、研究会や調査に参加したり、所蔵資料で学習・研究したりする機会を得ることができま

◆次の百年にむけて

今日、日本常民文化研究所は海外の大学や博物館の研究者との学術交流も盛んに行っています。学生や大学院生の中には留学生もいます。屋根裏からはじまった知は、世界へと広がり、根を下ろしつつあります。

洪沢敬三は、人類と社会の未来を信じ、夢を抱く人々を支援し育てることを自らの喜びとしました。銀行家として融資し成長した企業には、UBEや出光興産など、今も続くものが少なくありません。日本常民文化研究所も洪沢の夢の一つであり、学問を志す者が集う場です。卒業生のみならずにおかれましても、研究所の活動を温かく見守り、ご支援いただければありがたいと思います。



丹羽邦男(前列左)、山口徹(後列左)、網野義彦(後列中央)=1980年代半ば頃

宇宙ロケット部 活動紹介

宇宙ロケット部部长 脇田 幹

神奈川県宇宙ロケット部は、2014年の創部以来、宇宙空間到達を目標に活動を続けているサークルです。これまでに14回の打ち上げを実施し、到達高10.1キ、飛翔速度マッハ1.5を記録、高度および速度の両分野でハイブリッドロケットの日本1位を達成しております。

ロケットの中核技術は研究室が担っておりますが、私たちロケット部はその研究を支える場合が多いです。宇宙ロケット部が独自に開発した機器を発展させたものが搭載された例もあります。基本設計は研究室の先輩方が行い、私たちはそれを図面へと書き起こし、必要な材料の発注や組み立てを担当している者や研究室の学生に代わり燃焼試験の指揮を取る者もいます。

また、広報活動や教育活動にも力を入れております。2025年夏に平塚博物



写真は2024年12月の打ち上げの様子。高度10.05^キ、最高速度マッハ1.5を記録しました。



(わきた・かん◎建築学部建築学科2年)

館で開催された「湘南ロケットフェア」へ出展いたしました。さらに、中高生向けの教育目的で使用できる「ペットボトルハイブリッドロケット」の開発にも取り組み、宇宙や工学への関心を高める機会づくりを行っています。

今後も日本記録への挑戦を続けながら、宇宙空間到達、さらには超小型衛星の軌道投入という目標に向け歩みを進めてまいります。これまで本学を支えてこられた先輩方の歩みに敬意を払い、その志を受け継ぎながら挑戦を重ねてまいります。

ボクシング部 活動紹介

ボクシング部主将 猪瀬 優樹

私たち体育会ボクシング部は、1946年に創立された歴史ある部活動です。現在部員は三十人で、全国大会や関東大学ボクシングリーグ三部昇格を目標に、日々練習に励んでおります。活動場所は7号館地下1階で、OBの方々の日頃のサポートにより実戦的な練習環境が整っています。リーグ戦では、部内から選抜されたフライ級やバンタム級、ライト級、ライトウェルター級、ウェルター級の五人が代表選手として出場し、トーナメント方式で戦いました。

昨年度は、フライ級とバンタム級がそれぞれ3位、ライト級が2位、ウェルター級が優勝という成績を収め、大学としては総合3位という結果を残しました。今年度は、5階級すべてでの優勝、そしてその先の部昇格戦での勝利を目標に、部員一同さらなる高みを目指して取り組んでいます。また女子選手も活躍しており、マスボクシング全国大会に出場しました。サンドバッグやリングなどの豊富な練習器具に恵まれているほか、実績ある指導者や元プロトレーナーが在籍しており、日々高いレ

ベルでの指導を受けながら練習を行っています。日々の活動の様子は、主にInstagramにて発信しております。練習風景や試合の様子なども掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

今後とも、温かいご支援・ご声援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

(いのせ・ゆうき◎法学部法律学科4年)



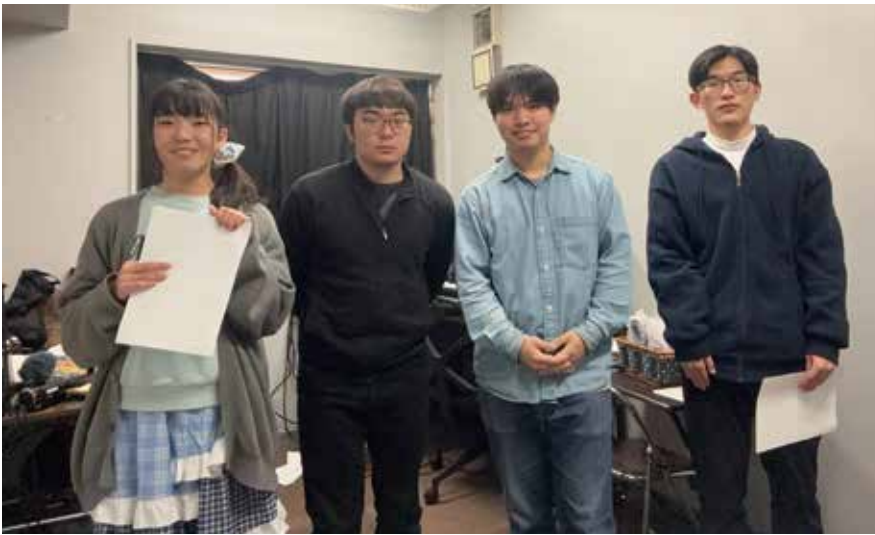
2025年度OB総会

放送研究会KBAS

活動紹介

放送研究会学生代表 高井 遼

私たち神奈川県放送研究会KBASは、映像媒体をはじめとしたさまざまな作品制作を行うことを目的としています。演技をはじめとする技術を学ぶ台詞課、さまざまな文章に触れ、時には学内イベントの司会を担当するアナウンス課、ラジオ収録、その配信を



放送研究会の仲間



幸いです。

(たかい・たくま◎)

経済学部現代ビジネス学科4年

行うラジオ課、動画編集などを学ぶ技術課に分かれ、日々それぞれの道を極めていきます。そして、創り上げた作品を年に1〜2回開催される番組発表会という場で発表しています。今年も、2月23日に番組発表会

を行いました。活動は、経験者だけでなく興味があるというだけだった未経験者も多く在籍しており、まわりの部員たちと共に高めあえる環境が整っており、映像作品制作に興味がある方、普段の喋りに自信が持てない方、ラジオ収録をやっ

てみたい方は是非放送研究会KBASを検討していただけると

神奈川大学ジャズ研究所

活動紹介

ジャズ研究所副部長代行

吉田 智紀

神奈川大学ジャズ研究所です。私たちは、毎週火曜日、木曜日に少人数でジャズのセッションを行っております。各々のペースで練習を行い、日々の活動で演奏により刺激を受け高め合っていくのが、普段の活動です。

モットーは、「Free Life Making By Jazz」です。ジャズのセッションにおける自由さ、それに伴う創造力によって自分たちの人生が豊かになっていくのではないかと、という意味を込めた方針の下に活動しています。完全調和に縛られず、個々人の個性ある演奏を尊重しつつ、巨匠たちが残した伝統を学び、自分たちの視野を広げることが大事だと考えております。

私たちの活動は、2020年に突如発生した新型コロナウイルスによるパンデミックにより大打撃を受け、そこから3年間は閉じこもった活動が続いていました。しかし、23年度から他大学との交流を増やすなど、外部との交流が増えました。また、宮陵会の協力もあり、24年度及び25年度はピアノ

ストのMasumi Yamamotoさんとのタイアップもありました。プロフェッショナルの演奏を肌で感じる機会も増え、ジャズ研究所の活動は以前に比べ、より活気溢れるようになっていきます。

開港以来国際都市として栄える横浜でのジャズ研究所の活動は、現代の私たちがなかなか触れられないような芸術と出会える貴重な機会となっています。

(よしだ・ともき◎) 経済学部経済学科4年



ジャズ研究所の仲間たち

横浜蒼碧法律会の活動紹介

横浜蒼碧法律会 2025 (令和7)年度代表

塚原 瞭

平素より横浜蒼碧法律会の活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。横浜蒼碧法律会は、1999 (平成11)年に創立し、法律の知識だけでなく、さまざまなレクリエーションを通して部員たちが主体性や協調性を身に付けるために活動をしています。

一昨年の蒼法会は部員数が20人ほどで、活動も特に決まった活動日はなく不定期開催という形でした。しかし、昨年4月の新入部員の勧誘活動に力を入れ、さらに活動日も週に2回、決まった曜日に行うなど頻度も増やしました。その結果約40人の新入部員を迎えることができ、以前よりも一層活気のあるものとなりました。新しい仲間が増えたことで活動の幅が広がり、以前の蒼法会ではできなかったような大人数でのレクリエーションや勉強会で、互いに学習内容の共有を行うなど、蒼法会が単なる「学習の場」ではなく、学びと交流を両立させた「成長の場」にすることができました。

また昨年8月には、湘南の海岸でバーベキューと花火を行い、普段の活動では体験できないような



令和7年度第1回目の活動風景

思い出を作ることができ、部員同士の親睦をより一層深める貴重な機会となりました。今後は合宿なども視野に入れて、活動を行っていきたくと考えています。

この部活を引き継いでくださった先輩方をはじめ、活動にご協力をしてくださった皆さまへの感謝を忘れず、部員一丸となって今後とも全力で取り組んで参ります。今後とも、横浜蒼碧法律会の活動になにとぞご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(つかはら・りょう)◎法学部法律学科4年

『コンメンタル借地借家法 [第4版]』

藤井俊二ら14名執筆
日本評論社刊 5,300円 (税別)

著者◎藤井俊二 1971年神奈川県立
宮陵会理事
創価大学名誉教授
日本地籍学会理事長



本書は、稲本洋之助(東大教授)先生が1980年代に若手研究者を集めて東大内に組織した「不動産賃貸借研究会」の研究成果である。借地借家法の標準的コンメンタルとして1993年刊行以来版を重ね、現在4版4刷となっている。私は、1条~5条、9条、38条、附則の注釈を担当しているが、特に、38条の注釈において、定期借家契約の成立要件としての説明書面は契約書だけで十分とする説もあったが、私は契約書と別個の書面を要すると主張し、最高裁は私の説を採用した(最判平24・9・13)。また、稲本先生の担当部分の改訂を「藤井君頼むよ」と言われ、緊張しながら改訂作業をしたのも良い思い出である。(藤井)

卒業生の本(自費出版物を含む)の紹介をしています。

著者の紹介文(300字以内)を添え広報委員会宛にお送りください。『宮陵』(年1回5月発行)か『宮陵会報』(年2回8月、12月発行)のいずれかで紹介。原稿は手直し(抜粋)する場合があります。郵便番号、住所、氏名、年齢、卒業年・学科、連絡先(固定電話、携帯電話、メールアドレス)を書いて、著書と一緒に送りください

教室を飛び出し、地域や社会にも活動範囲を広げ、現場からつかみ取る「かけがえのない経験」に挑む
 国際日本学部の平山昇ゼミナール。その活動の様子をゼミ生から寄稿してもらいました。
 (編集部)

なぜ政治家による講演会を実施したか。

2025年度(26年3月)
 国際日本学部国際文化交流学科卒業

原田 修平

平山ゼミナールです。私たちは25年9月24日、国民民主党の玉木雄一郎代表によるゼミ主催の講演会を実施しました。なぜ企画したかという

と「神奈川県で政治について議論する場を作りたい」という気持ちがあったからです。これまで神大には学生が主体となって政治について考える機会が設けられたことはありませんでした。学びの場である大学で、日本の未来を担う学生が政治を議論する場がないのはおかしい。そこで、政治家のなかでも特に若者に人気のあった玉木氏に講演を依頼しました。

当日は約300人の学生や教職員の方々に参加していただき、大盛況となりました。質問コーナーでは、希望者全員にマイクを渡せないほど多くの質問が投げかけられ、玉木氏も「政治サークルを作ればいいじゃん!」とおっしゃったほどでした。実施するには慣れないことも多く大変でしたが、講演会終了後の参加者の満足そうな様子をみて、本当に

良かったなと胸をなでおろしました。今後の日本のためにも、神大で政治について活発な議論が交わされたいことを願っています。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございます。



熱気ある講演会終了後に国民民主党代表・玉木氏と平山ゼミ生で記念撮影

〆九人九色〆四国への挑戦。

国際日本学部国際文化交流学科4年

諸田 実花

平山ゼミ3年生の9人は昨夏、ゼミのミッションとして四国遍路の一人旅に挑みました。最大の特徴は「ゼミ生9人全員が異なるルートで四国に上陸し、巡礼を行う」という極めて過酷でユニークなルールです。与えられた条件は、①上陸する

際はフェリーのみを使い四国に渡る②ゼミ生一人一人が航路を調べ、点在する港を結びつけながら、自分だけの道筋を立てる―というもので、まさに未知への挑戦でした。一人旅が初めてという学生もいました。1人でフェリーに乗り込み、海を越えて四国の地に降り立った瞬間、これから

始まる旅への期待と全てを自力でしなければならぬ責任感を強く感じました。道中、ゼミ生同士で連絡を取り合い、他のメンバーが別の場所で大変なことを励みに、一歩一歩巡礼地を回りました。



四国遍路で訪れた香川県の普通寺

この経験を通じ制約の中で、いかに自分らしい最適解を見つけ実行するかという「構想力」や「決断力」、そして「完遂力」を養うことができました。一人旅でありながら、ゼミの仲間と見えない絆でつながっていた「一生忘れられない特別な夏休み」になりました。

平山ゼミ関連本の紹介

『四国遍路ひとり旅』

私たち平山ゼミ4期生は、昨年の夏に四国一人旅をしてきました。本書は、その旅の体験談を1冊にまとめたエッセイ集です。本書は販売を目的とせず、ゼミでの記録用として自費出版しました。野宿やヒッチハイクといった無謀な



挑戦をしたゼミ生もあり、それぞれが自分の旅と向き合い、感じたこと、考えたこと、九人九色の旅の模様をありのままに綴っています。

『大学的な神奈川ガイド こだわりの歩き方』
 (国際日本学部平山昇教授著。昭和堂刊)

観光、地理、考古、民俗、歴史、農といった領域の研究者が、新鮮な視点で神奈川を紹介。研究者はもちろん、吉原勇樹氏(神大職員)の撮影写真や現役学生たちのコラムも掲載するなど、神大の総力を結集したユニークな本。





卒業生の声

多くの卒業生から

さまざまな声をお寄せいただきました。

新たな挑戦を始める 学生に多様な選択肢を

千葉県 岩瀬 学(61歳)

1988(昭和63)年経済学部経済学科卒業

かつて私が所属していたアーチェリー部が廃部になると、昨年OB会から連絡がありました。最近は何部員数も減少し活動が思わしくないことは聞いていましたが、まさか廃部になるまで深刻だったとは思いませんでした。

わが部は1968年に発足。70年代後半から80年代前半に最も隆盛を誇り、日体大や慶応大と肩を並べる実力で、関東学生リーグで最高成績は1部2位でした。私が4年生の87年は、1部5位で辛うじて2部との入れ替え戦を制して1部残留。最低限の結果に胸をなで下ろしたことを思い出します。

それから紆余曲折あったものの決定的な転機はやはり、コロナ禍です。学校が閉鎖され、4月の新入部員の勧誘ができませんでした。アーチェリーというマイナー競技では、まず見て知ってもらうことが大切です。かつて春先に校舎の中庭で、アーチェ

リー部員が、的代わりの風船を次々と割っていくデモンストレーションを見た記憶のある方もいらっしゃるでしょう。このような実演ができないと、なかなか勧誘がうまくいきません。その結果、部員の減少に歯止めがかからなくなったわけです。

アーチェリーは大学から始めるのが一般的です。努力次第で4年間でインカレなどに出場できるレベルに到達できます。大学に入り、スポーツにチャレンジしたいという人には、うってつけの競技なのです。

大学で心機一転、新たな挑戦をしたい。そんな希望を胸に入學する学生に、多様な選択肢を提示する魅力ある神大であってほしい。運動系、文化系を問わず、注目を浴びることも少なく、地道に活動している団体の支援を大学にはお願いしたいと思います。

鮮明に学生時代を 思い出させてくれた

香川県 山本 達夫(76歳)

1974(昭和49)年外国語学部スペイン語学科卒業

香川県宮陵会総会と懇親会が1月3日、高松市内のホテルで行われ、母校神奈川大学と宮陵会から来賓として二人が来られた。会場にはテレビの大型画面に箱根駅伝で力走する選手の姿が映っていました。席上、横浜専門学校(神奈川大学の前身)出身で活躍する彫刻家・速水史朗先

生の白寿のお祝いがあり、出席者全員でお祝いしました。

懇親会の演奏では、若いころを思い出させる懐かしいフォークソングを楽しみました。

何と！出席された役員の中に、ハマシヨールさんと浜田省吾さんと同じ下宿だったことが披露され、驚きました。久しぶりに会う皆さまと美味しいお酒や料理を戴きながら楽しい会話に話が弾みました。4年間お世話になった六角橋での学生時代の、あの当時の色んな思い出が浮かんできました。来賓から大学の様子や陸上部のお話も伺うことができ、讃岐に住む私にはとても新鮮なものでした。

私は学生時代、レスリング部に所属していました。ふる里に戻ってからは、山里でレスリングクラブを立ち上げ、今年で38年目を迎えました。これまで12回、毎年1月、東京の代々木で開催される全日本マスターズレスリング選手権大会に出場しました。学生時代はリュックに日の丸を付け、ヨーロッパを旅し、スペインまでたどり着きました。

こうしたことを含め、会場では親しく歓談しました。

若い頃によく観ていたテ



学生時代に訪れたマドリッドで(昭和48年12月)

レビ番組、中村雅俊さん主演の「俺たちの旅」を思い出しました。勉強をあまりしなかった私に温かく接してくれた同じ学科の友人は、中村雅俊さんと同じ高校だったこともあり「中村雅俊さんはよくバスケットの練習をしていたなあ」と言っていたのを思い出しました。多くの皆さまの支えで、このように大学で過ごした4年間を鮮明に思い出すことができた懇親会は、本当に嬉しいものでした。

大相撲観戦

愛知県 大洲 守生(68歳)

1983(昭和58)年法学部法律学科卒業

私は小学校低学年の頃から、大の相撲好き。当時の横綱は、柏戸や大鵬、栃ノ海、佐田の山であったが、大鵬の強さは際立っていた。今でも私の耳に、「大鵬の勝ち、大鵬の勝ち」とアナウンサーが大きな声を出していたのが記憶に残る。本場所を観戦したいという夢をずっと持ち続けていたが、なかなか実現しなかった。ついに神奈川大学入学後その時はやってきた。横浜に住むようになり、東京では年3回本場所が開催され、私の郷里、愛知県に比べ、観戦のチャンスは多い。初めて東京台東区の蔵前国技館へ行った時のことは、今でも鮮明に覚えている。本当に嬉しかった。当時の横綱は、輪島や北の湖。鬘付け油の匂いが漂い、両力士がぶつかった時は、大きな音

がし、迫力満点。テレビ観戦ではわからないこともいろいろ発見できた。以後、卒業まで毎場所、蔵前国技館へ通った。卒業後、愛知県に戻った私ですが、名古屋は毎場所、両国国技館へは5回、大阪には隔年、福岡へも1回相撲観戦へ行ってきた。40歳を超えてからは本場所観戦へは足が遠のいた。

しかし、昨年は名古屋場所が愛知県体育館から、I Gアリーナに会場変更となり、久々に現地観戦した。私は力士の写真を撮り、今は廃刊となった読売新聞社発行の「大相撲」の読者のグラビアに写真を送り、数多く採用して戴いた。相撲に関する書籍や雑誌は大学時代から購入し、大量に所持している。「本場所を観戦したいがまだ実現できていない」という話しをときおり聞くが、一度本場所を観戦すると相撲の魅力がよくわかります。まだ本場所に行ったことのない方には、観戦をお勧めします。

欧州訪問について

広島県 中村 利夫(78歳)

1971(昭和46)年工学部応用化学科卒業

50歳(1997年)の頃に海外研修で赴いた欧州訪問について雑感を述べたい。

◇ドイツ(ミュンヘン) ミュンヘン

市内視察。ミュンヘン市内のどこの歩道にもゴミが散在していないのは驚かされる。ミュンヘンといえば、まずビール。新市庁舎のからくり時計を見ながら、まずは乾杯。ビール

グラスには量を示す線が入っていて、きつちりこままで入れなければならぬ決まり。さすが合理的な国のドイツにまたまた感激し、もう一杯。

◇イタリア(ベネチア) 水の都ベネチア。ベネチアの中心広場は、さすがにかのナポレオンが世界でもっとも美しい客間と称えたのに相応しい。やはりイタリアといえば、スパゲティとピザ。イカ墨のスパゲティとマルゲリータピザを食する。そのおいしさに感激し、イタリアワインで乾杯。かつて、ベネチアの商人によつてさまざまな食材がこの町を通り、その伝統を作り上げてきたのを垣間見る思いがする。

◇イタリア(ローマ) 永遠の都ローマ。ローマといえば、映画「ローマ

の休日」が真っ先に思い浮かぶ。オードリー扮するアン王女が、アイスクリームを片手に現れるのがスペイン広場。スペイン階段を歩く姿は、魅力的で新鮮だった。そのスペイン広場は修復後、飲食禁止となったので、トレビの泉近くで、アイスクリームをほお張り、トレビの泉に、日本の硬貨を投げ入れ、旅の安全を祈った。

◇イギリス(ロンドン) リージェンツ・パーク散策。ロンドン一美しい公園とのこと。公園内で、ステッキを持った初老の紳士を始めとして、家族連れとすれ違った際に、「モーニング」と声を掛けられ、こちらも思わず「モーニング」。さすが紳士の国イギリス、朝から気分がいい。それにしても「モーニング」、「ソーリー」、「サンキュー」が自然とでてくる国だ。

見習う必要がある。

◇フランス(パリ) パリの凱旋門。半径120mの円形大広場の中央にそびえ立つ凱旋門の屋上に上る。計12本の大通りが放射線状に延びている。それにしても車の出入りがここを中心として回っており、目まぐるしく動いている。よく事故が起きないものだ。シャンゼリゼ通り。有名ブティックが軒を連ねる。この通りは、「女性は目に毒、男性は気の毒」とのこと。なるほど納得。

【お詫びと訂正】

『宮陵会報』(No.121)の14頁「卒業生の声」の中村利夫様の「1971(昭和46)年法学部法律学科卒業」とあるは間違いでした。正しくは「1971(昭和46)年工学部応用化学科卒業」です。 宮陵会広報委員会

今をどう生きるか

京都府 櫻井 秀之(71歳)

1978(昭和53)年工学部応用化学科卒業

神大に入学すると大学紛争、卒業時はオイルショックとありましたが、学生時代に良き先輩に恵まれたこととポジティブに生きる多くの友人との出会いが、今を生きる原動力になっていきます。感謝、感謝です。

卒業後は、埼玉と京都府で教職に就き、荒れた学校の改善に全力投球し、落ち着いたら退職していました。現在は、有機肥料にこだわって米農家をしています。肥料代は普通の倍かかりますが、皆さんにはおいしいと好評です。農繁期の合間や秋にか

けて、西国三十三ヶ所巡り(西国三十三所観音巡礼)をして、過去の御礼、現在の感謝、未来の願いをするため、これまで3回お参りしました。今年は四国八十八ヶ所巡り(四国八十八箇所巡礼)に挑戦しようと考えています。

日頃は、小学校に通う孫たちと田舎の四季の移り変わりを肌で感じながら、楽しく見守り隊をしています。また、近くにある幼稚園の副理事長として芋掘り体験や夏祭りなどの行事の支援をしています。今の課題は園児数の減少で、以前は200人を超えたのが今は150人に減り、少子化に歯止めがかからない状況です。1人でも多くの園児に通つてもらえるように幼稚園を「こども園」にして、地域住民を巻き込んで魅力ある園づくりに向け活動中です。

「村の将来を考える会」を立ち上げ、若い人たちと村の将来について熱く語り合っています。残りの人生、今をどう前向きに生きるか。ただいま奮闘中です。

推し活

福岡県 貞方 康伸(64歳)

1985(昭和60)年工学部電気工学科卒業

卒業生の皆さま、重点強化部にご存じでしょうか。全国トップクラスの実績を目指すとともに、学業とスポーツを両立した「学生アスリート」の育成に注力している部活動(団体)です。神奈川大学アスレティックデパートメントが、きめ細やかな

指導と支援を行っています。

重点強化部と聞くと「陸上競技部（駅伝チーム）」を思い浮かべられる方が多いのではないのでしょうか。

「水泳部」「硬式野球部」「サッカー部」「レスリング部」「男子バスケットボール部」「スケート部」を含め合計7団体が選出されています。

小生、小学3年生（10歳）から水泳を始め、選手として大会に出場し続けていたこともあり「水泳部」に愛着を感じ「推し活」しています。（大学生時代は、帰宅部でした。笑）

水泳部は「競技者である前に人格者であれ」という理念の下、まずは人材育成に取り組まれていることや25畳屋内プールという練習環境でありながら「2025年度日本学生選手権水泳競技大会（インカレ）」で女子総合優勝2連覇を達成されたことを嬉しく思います。

選手の努力に加え、舟橋監督をはじめスタッフ陣の指導力の賜物だと感じています。今後の更なる活躍や50畳屋内プールの練習環境を整備頂くことに期待しているところですよ。

皆さまも推しの「部活動」を見つけて学生と共に喜び、感動を分かち合われては如何でしょうか。小生



佐賀合宿中の水泳部の学生たちと（前列中央が筆者）

は「推し活」メンバーを増やすと共に「日本選手権水泳競技大会」や「日本学生選手権水泳競技大会（インカレ）」などの大会に駆け付け、学生と共に喜び、感動を分かち合いたいと思います。

創設者の想いを考える

神奈川県 久米 信行（76歳）
1974（昭和49）年経済学部経済学科卒業

私は神奈川大学の創設者米田吉盛先生を知らない。記憶では遠くから一度見ただけである。1975（昭和50）年に神奈川大学に奉職して、教務課そして財務課に勤務。その間米田先生を見た記憶しているのは、遠くからのたった1回の記憶だけである。

1970（昭和45）年入学したときには、すでに米田先生は学生運動の波を受け、その渦中で辞めざるを得なかったようである。その後も学生運動はさまざまに学生同士の争い、学生による教員の吊上げは日常茶飯事であった。ヘルメットを被った学生が闊歩する学内では、米田先生のことや先生が辞められた理由を公然と聞ける雰囲気はなく、むしろはばかられていた。昭和50年代の終わりから60年代にかけて、ようやく学生運動も落ち着き、学校全体が穏やかになってきてからは、大学の改革や財政改革への取り組み

も進み、附属学校の設立、平塚キャンパスの設置、短大二部（夜間部）の廃止、恒常的定員増、そして新学科設置や大学院研究科増設と、大学の再生が進んできた。

時代が平成に移った後も、大学設立70周年そして80周年になり、さまざまな改革の進む中、基本となる大学創立の理念も見直されることになった。そこで、やはり創立者である米田先生に光があたることになり、先生は何を考え、どのような大学を作り、そしてどのような学生を世に送りたいか、その頃から作られたさまざまな出版物で理解が深まってきた。やがて、大学を創設して経営半ばにして辞めざるを得なかった思いは、その後の経営者によって、2021（令和3）年国際を意識した「みなとみらいキャンパス」ができたことに引き継がれたと私は感じた。そしてこの設置は、米田先生が当初から貿易学科を置き英語教育に力を注いで、国際感覚に富む人材育成を目指した集大成であると考えてしまう。新キャンパスや六角橋キャンパスを統合した神奈川大学の再編により、その後の先生方として学生のさまざまな活躍が聞こえてくる中、今は神大を退職して宮陵会に籍を置く身とはなったが、新たな米田先生の息吹を感じて他ならない。

そのような創設者の想いを考えれば考えるほど、何か義務感のようなものを感じてしまうが、できることは限られてしまう。最低限出来ることとして、今後、神大がどのように

変遷し、どのように実っていくのか。同窓会の一員として、見守りそして応援はしていきたい。

■ 読者プレゼント

- 【賞品】 ①神奈川大学箱根保養所 1泊 2食付きペア宿泊券 3名
②KUマーク入りトートバック
(縦360mm×横296mm×マチ11.8mm) 10名
- 【応募方法】 はがきにご希望の賞品(①か②)を書いて、名前、郵便番号、住所、電話(携帯)番号、メールアドレス、卒業年・学科、今号(『宮陵』No75号)の感想も書いて、宮陵会「読者プレゼント係」へ
- 【締め切り】 26(令和8)年6月19日(金)=消印有効。当選者(抽選)の発表は、賞品の発送(7月上旬)をもって代えさせていただきます。

▼ご投稿、読者プレゼントの送付先

〒221-0802 横浜市神奈川区六角橋3-27-1
神奈川大学宮陵会のそれぞれの係まで。ご投稿の場合はメール(kyuryou-kouhou@kanagawa-u.ac.jp)でもできます。

■『宮陵会報』(No122号、26年8月発行)

へのご投稿をお待ちしております。

- ▽発行 26(令和8)年8月中旬
- ▽体裁 A4判、16ページ
- ▽部数 120,000部
- ▽テーマ (自由)。原稿は一部手直しすることがあります
- ▽字数 600字ぐらい
- ▽送付先 宮陵会「会報122号」係。郵便番号、住所、氏名、卒業年・学科、連絡先(原稿確認のため携帯番号と固定電話番号、メールアドレス)を明記し、郵送かメールでお送りください。
- ▽締め切り 26(令和8)年6月19日(金)。掲載分には記念品をお送りします。



読者から寄せられた
『宮陵会報』
(No121号、25年12月
発行)の感想(抜粋)



○先輩方のご活躍を読んで、今年社会人3年目となった自分も仕事に邁進しようと、気持ちを新たにできた。
(神奈川県 男性)

○卒業生の声を拝見し、自身の学生時代を思い出し、懐かしくなりました。
(秋田県 男性)

○卒業生の声で、昭和40年代の学生アルバイトを興味深く読ませていただきました。
(長崎県 男性)

○ホームカミングデーに参加し、無料法律相談でアドバイスをいただきました。
(神奈川県 男性)

○毎号、卒業生の活躍や卒業生の声を楽しみにしています。懐かしい

六角橋商店街の思い出を浮かべています。いつもありがとうございます。
(東京都 男性)

○「声援がむすぶ香川県観音寺の縁ときずな」のページをじっくり読ませてもらいました。
(香川県 男性)

○いつもながら、OB、OG目線に気配りし、多角的に編集されている。内田会長の文章で、創立記念日を初めて知った。在校生の活躍にいつもニッコリ。卒業生の声欄に、「そうそう、なるほど!」と同感する。
(新潟県 男性)

○大学の様子や同年代の方々の思い出など、毎号楽しみにしています。
(香川県 男性)

○いつも楽しみにしています。皆さん、卒業して年月が経っても交流が続き、すごい。
(東京都 男性)

○各地のこともたくさん載っていて、55年前を彷彿させてくれた。学生結婚した時代が懐かしい。
(大阪府 男性)

○仕事で年始の駅伝を見られないことが多かったが、今年は休みで、会報の駅伝ガイドを見て、東神奈川に出かけた。懸命に走る選手たちに感動した。
(東京都 女性)

○会報が届くと真っ先に読むのが卒業生の声だ。名も顔も存じ上げない全国の老若男女の卒業生たちの思い出や暮らしぶり、生き方を知り、共感したり感動したり。このコーナーは目が離せない。
(石川県 男性)

○宋さんの文章にあった「やらずに後悔、やって後悔」に目が留まった。私の趣味もマラソン。「迷うなら、参加する」ように考えるようになった。「いつか」は永遠に来ません。26年2月の大阪マラソンに参加する。参加費は大きくなるばかりだが、今でしか味わえない感動があると思うからです。ゴール後のランナーたちと交わす互いを称える時間が好きです。全く知らない人とも臆せず話せる自分に驚きます。
(山形県 男性)

○宋さんの「年齢の数だけ初体験にチャレンジ」とあり、とても印象的でした。私もさまざまなおとに挑戦して行きたい。4年前からフルートを習い、26年1月にはフィナンシャルプランナーの資格試験も受験。宋さんのように新しいことに次々に挑戦したい。
(静岡県 女性)

○毎号、限られた紙面の中で素晴らしい構成だと思います。母校の今、卒業生の活躍、表紙絵は「希求」です。長い歴史と未来への希望を感じます。
(千葉県 男性)

○駅伝ガイドは見やすい。欲を言えば、選手名やその顔写真、意気込みなども載せてもらいたい。
(神奈川県 男性)

○内田会長の「私の大学創立記念日の迎え方」は素晴らしい提案だと思えました。早速、1月に開催された総会に青いネクタイを締めて参加した。
(香川県 男性)

続きはP62へ!



あなたのスタイリスト

AOKI

MEN'S LADIES'

特別クーポン
はこちら!



お近くの店舗
はこちら!



制服のご相談
はこちら!



横浜専門学校校歌

作詞 土井 晩翠
作曲 岡野 貞一

一、近代日本の文化の曙光

初めてまばゆく照し、港
港に基おく我等の母校
栄えよ横浜専門学校

二、基は新たな昭和の御代に

四海の思潮の寄せくる時に
経世実用めあてとなして
栄えよ横浜専門学校

三、狂と暗とは暫しの悩み

正義は世界の力の本と
信じて勉むる健児のやどり
栄えよ横浜専門学校

四、祖国の誉れと世界の平和

目指して日に日に希望にみちて
向上無窮の使命に進む
栄えよ横浜専門学校



神奈川大学校歌

作詞 神保光太郎
作曲 高田 三郎

一、岩をうち とうろに返す

真白なる 波のゆくえよ
あけそめし 日本の未来
湧きおこる あかつきの歌
世界は呼ぶ 世界は呼ぶ
ひかりはここに

われら われら 神奈川大学

二、空あおく 涯てなくあおく

船は航く 遠きわたつみ
ひとすじの 真理の潮路
相寄りて今日も究めん
世界は呼ぶ 世界は呼ぶ
ひかりはここに

われら われら 神奈川大学

三、丘に立ち 祖国を想う

混沌の 雲のゆきかい
日に烈し ほのほの決意
あたらしき 歴史の朝よ
世界は呼ぶ 世界は呼ぶ
ひかりはここに

われら われら 神奈川大学

まだまだ感想は
続きます。



○借地借家法の専門書を著している先輩がい
らっしゃるとは、驚きました。宅建試験を目
指しているので、励みになりました。
(千葉県 男性)

○卒業して63年目になり、元気な日々感謝し
ています。先輩方の記事を見て、人生はま
だまだこれからだと思いました。
(兵庫県 男性)

○六角橋商店街の記事を読んで久しぶりに行き
たくなった。神大はテレビ東京のドラマ「孤
独のグルメ」で登場した。26年は大学や商
店街に足を運びたい。
(兵庫県 男性)

○毎年、駅伝の沿道応援を行っている。応援方
イドが役立つている。
(東京都 女性)

○懐かしの商店街を読み、私が歳末大売り出し
イベントを手伝っていたころを、思い出しま
した。
(栃木県 男性)

○毎号、気になるのが卒業生の声。私が生ま
れる前の卒業生の記事を見ると、大学の歴史
を感じます。
(東京都 男性)



エーデルワイス
edelweiss
花言葉／大切な思い出

ちよっと道草...「孤独のグルメ」Season2 第5話「横浜市白楽
の豚肉と玉ねぎのニンニク焼き」で神奈川大学が
舞台となりました。五郎さんは「シフォン」にて
フルーツミックスを食べていました。

2026年度 定時総会の開催について

2026年度定時総会を下記の日程で開催いたします。

定時総会は、2024年度に実施しました代議員選挙で選出された代議員(社員)をもって行います。

代議員の方には、別途ご通知申し上げます。

正会員は、定時総会を傍聴することができます。

詳細につきましては、5月中旬以降に宮陵会のホームページに掲載いたしますので、最新情報をご確認ください。

傍聴を希望される正会員の方は、卒業年次・学科、氏名、住所、電話、E-mail等をご記入のうえ、定時総会傍聴希望と記載して、FAX、E-mailもしくは郵便にて**5月29日(金)まで**にご連絡ください。

なお、定時総会終了後に懇親会を行いますので、ご参加の場合はその旨をあわせて記載のうえ、会費として2,000円をご用意願います。

記

日 時 2026年6月13日(土) 午後2時
場 所 神奈川大学 横浜キャンパス **16号館セレストホール** (予定)
報 告 事 項 ①2025年度(2025年4月1日から2026年3月31日まで)事業報告
②2026年度(2026年4月1日から2027年3月31日まで)事業計画及び予算
決 議 事 項 第1号議案 2025年度(2025年4月1日から2026年3月31日まで)決算承認の件



神奈川大学4年次生及び保護者の皆様 2025年度ご卒業の皆様

一般社団法人神奈川大学宮陵会は、神奈川大学の卒業生を会員とし、在学学生を準会員とする同窓会組織です。

今回は、宮陵会(同窓会)へのご理解を深めていただきたく、広報誌『宮陵』(No.75)をお届けいたしました。

宮陵会は横浜キャンパス(30号館)に本部を設置し、北海道から沖縄県までの都道府県、海外、職域、同期、同好等で構成された地域組織(24頁参照)が活動しています。

また、奨学金の給付、卒業祝賀会の共催、課外活動への援助等、大学や在学学生との繋がりがも大切にしています。

卒業後は是非とも、宮陵会の活動に積極的にご参加ください。

2025年度ご卒業の皆様

ご卒業おめでとうございます。

今回の発送に際しましては卒業後の転居を考慮し保護者様のご住所にお送りいたしました。

今後は右記のとおり大学にご登録の住所に発送いたしますので、変更があった場合は登録変更の手続きをお願いいたします。

広告索引

神奈川大学生協同組合…表紙裏 横浜市開港記念会館 ……65
株式会社KUパートナーズ ……48 株式会社AOKI ……61、裏表紙

事務局からのお願い

住所等の変更について

登録されている氏名・住所・電話番号・勤務先などに変更があれば、「JINDAI Alumni MY ページ」よりご自身でご変更の手続きをお願いします。詳しくはP64をご確認ください。
[神奈川大学ホームページ]

(<https://www.kanagawa-u.ac.jp/>)

⇒ 卒業生情報登録・変更のご案内



※登録いただきました情報につきましては、皆様の個人情報の重要性を深く認識し、「学校法人神奈川大学プライバシーポリシー」に従い適正な保護管理に努めます。

地域組織代表者・事務局担当者の皆様へ

県民功労、大臣表彰、褒章、叙勲等をうけられた会員の方がございましたら、事務局までお知らせください。

表紙のこぼ

題名「波に桜舞う」(2026年3月制作 油彩10号F)

波は人生そのものである。人生の飛躍は、桜舞う時節に成長する。青年よ大志を抱け。

■絵を制作するときが一番に構図を考える。だがその前に構成があります。寓意性のある絵に出会ったとき、不思議な感動が動きます。

岸本凌幾

(1967年法学部法律学科卒、二紀会会員、日本美術家連盟会員)

一般社団法人神奈川大学宮陵会ホームページのご案内

<https://www.kanagawa-u.ac.jp/kyuryokai/>

検索

一般社団法人神奈川大学宮陵会ではホームページを開設しています。各地域組織等のホームページへもリンクしていますので、是非一度アクセスしてみてください。



宮陵 第75号(2026年)

発行 2026(令和8)年4月30日

発行所 一般社団法人神奈川大学宮陵会
〒221-0802 横浜市神奈川区六角橋3-27-1
神奈川大学内

電話 045-481-5661

FAX 045-413-0791

E-mail kyuryou-jimu@kanagawa-u.ac.jp

編集 一般社団法人神奈川大学宮陵会広報委員会

委員長 原 柳 作(1971・昭46英文)
副委員長 和 知 親 裕(1988・昭63貿易)
委員 木 内 好 信(1981・昭56Ⅱ法律)
委員 永 田 晴 彦(1983・昭58貿易)
委員 中 山 幾 雄(1988・昭63法律)
委員 古 閑 千保子(2001・平13英文)

卒業生コミュニティサイト JINDAI Alumni 利用の手引き

※今後、住所変更等はご自身で更新していただけます。
ただし、「宮陵会からの発送停止」を希望する場合は、メニューの「プロフィール確認・変更」の「郵送先」から「郵送しない」を選択してください。

STEP 01

神奈川大学公式ホームページ「卒業生の方」メニューから



卒業生の方

STEP 02

「卒業生登録情報の変更について」に入り、



卒業生登録情報の変更について

STEP 03



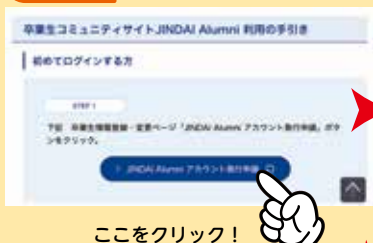
初めてログインする方

アカウントをお持ちの方

このページが開いたら、「初めてログインする方」「アカウントをお持ちの方」該当する方をクリック!

初めてログインする方

STEP 01



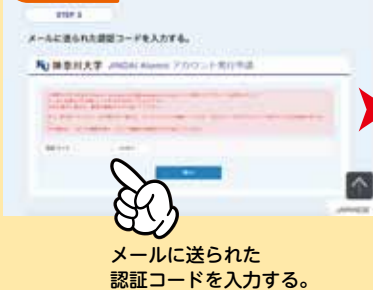
ここをクリック!

STEP 02

氏名・メールアドレスを入力。



STEP 03



メールに送られた
認証コードを入力する。

STEP 04

必要事項を入力し
確認ボタンを押す



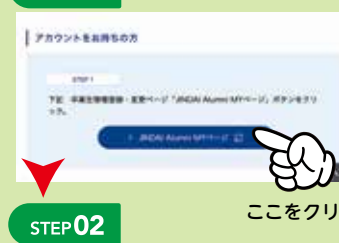
STEP 05

STEP 5

個人情報照合の後、合致すればメールアドレスにID/PASSが送られてくる。
以下「アカウントをお持ちの方」の手順に従って入力をする。

アカウントをお持ちの方

STEP 01



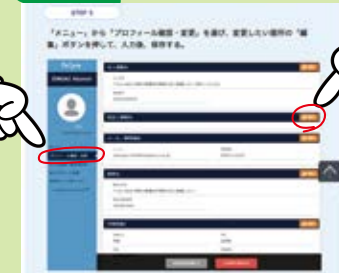
ここをクリック!

STEP 02



必要事項を入力し
確認ボタンを押す

STEP 03



メニューから「プロフィール確認・変更」を選び、変更したい場所の「編集」ボタンを押して、入力後保存する。

横浜市開港記念会館

利用案内

日頃より、横浜市開港記念会館をご利用いただきありがとうございます。
 当会館は、横浜開港50周年を記念し、市民の寄付金等により大正6年に「開港記念横浜会館」として建設されて以来、横浜の代表的建造物の一つとして多くの市民に親しまれてきました。
 昭和34年からは「横浜市開港記念会館」の名称で公会堂として利用されており、また、平成元年に重要文化財として国の指定を受けております。講堂及び各会議室以外の1、2階ロビー・資料コーナー等の共通部分については、どなたでも見学できる施設となっております。
 公会堂をご利用のお客様におかれましては、当会館の仕様上の注意事項等をお守りいただき、重要な歴史的建造物を大切にご利用くださるようお願い申し上げます。

申込手続き

- 休館日：毎月第2水曜（祝日の場合は翌平日）、年末年始（12月29日～1月3日）
- 営業時間：9：00（開館）～22：00（閉館）
- 貸出時間帯（区分） ※貸出時間帯の前・後の使用はできませんので、ご承知おきください。

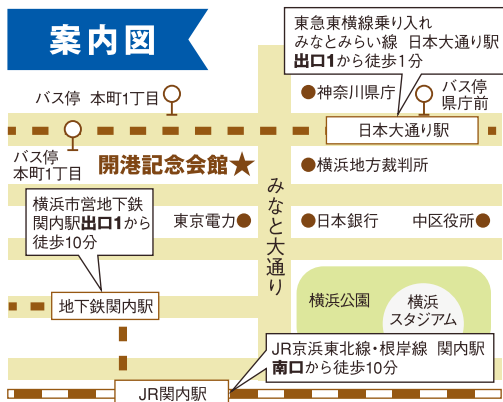
講 堂	昼間(9:00~17:00)	夜間(17:30~22:00)	昼夜間(9:00~22:00)
各会議室	午前(9:00~12:00) 午後(13:00~17:00)	夜間(17:30~22:00)	昼夜間(9:00~22:00)

- 受付開始日※ 市街の方は、講堂・会議室ともに1か月前からの受付です。
 受付開始日に予約する場合は、来館してください。午前9時の時点で希望者が複数の場合、抽選を行います。抽選への参加は1催事につき1名に限ります。複数応募等の不正が判明した場合は、ご利用をお断りします。
 ※【「講堂」または「講堂の催事」に伴う会議室】の利用：利用日の6か月前の当日が受付開始日
 【「会議室」のみ】の利用：利用日の3か月前の当日が受付開始日
 （受付開始日が休館日にあたる場合は、翌日が受付開始日となります。）
- 受付開始日以降の受付：先着順（電話も可）
- 未成年者の利用：未成年者が利用するときは、成年者の同意書が必要です。
- 申込手続き：予約後10日以内に会館事務室にお越しください。
 利用許可申請書に必要事項を記入の上、利用料金を添えてお申し込みください。
 手続きの終了後、「利用許可証」をお渡します。利用日当日に必ずお持ちください。
- 利用の不許可（次の場合は利用できません）
 - ① 公安又は風俗を害するおそれのあるもの
 - ② 主として物品販売や展示および宣伝を目的とするもの
 - ③ 葬儀・告別式その他市長が必要と認めたとき
- 利用の取消（次の場合には利用を制限し、または許可を取り消す場合があります。）
 - ① 偽り、その他不正な手段で利用許可を受けたとき
 - ② 条例・規則に違反し、かつ職員等の指示に従わないとき
 - ③ 災害、その他事故により公会堂が利用不能になったとき 等
- 「音」を出す催事、「臭い」が発生する催事

当館は、防音設備が整っていませんので、音楽会・コンサート等に限らず講堂において大きめの「音」を出す催事の場合には、講堂以外の各会議室も予約確保していただいております。「音」出し催事により他のお客様にご迷惑な場合は、音量等の抑制について注意させていただくことがあります。また、会議室での「音」出し催事や「臭い」が長時間残るような催事の場合、たのお客様にご迷惑がかかりますので、お断りすることがあります。



案内図



〒231-0005 横浜市中区本町1丁目8番地
 TEL.045-201-0708 FAX.045-201-2630

指定管理者：神奈川大学、神奈川新聞社、相鉄企業

● 会館時間：9：00～22：00

● 休館日：毎月第2水曜日（祝日、休日のときは翌平日）、
 年末年始 12/29～1/3

● メールアドレス kaikokinennkaikan@sk-ims.com

● ホームページ <http://www.kaikokinennkaikan.com>

または、検索サイトで「横浜市開港記念会館」と入力



神奈川大学宮陵会の皆様・ご家族の皆様へ



今の時期に欲しいアイテムを取り揃えております! /

特別ご優待クーポン Special Coupon



ご来店の際は本状をご提示ください。

AOKI' 特別ご優待クーポン

有効期限 2027年4月30日(金)まで

1着ご購入クーポン

メンズ スーツ 12,000円引

39,900円 (税込43,890円)以上の品 (税込13,200円引)

【値下げ前価格より割引】

金のスーツ・49,900円(税込54,890円)以上のパーソナルオーダーは20%OFF

1着ご購入クーポン

メンズ フォーマル 12,000円引

39,900円 (税込43,890円)以上の品 (税込13,200円引)

【値下げ前価格より割引】

49,900円(税込54,890円)以上のパーソナルオーダーは20%OFF

1着ご購入クーポン

メンズ ジャケット 20%OFF

16,900円 (税込18,590円)以上の品

【値下げ前価格より割引】

1着ご購入クーポン

レディース スーツ・コート・フォーマル 20%OFF

19,900円 (税込21,890円)以上の品

【値下げ前価格より割引】

49,900円(税込54,890円)以上のパーソナルオーダーは20%OFF

1着ご購入クーポン

レディース ジャケット 20%OFF

13,900円 (税込15,290円)以上の品

【値下げ前価格より割引】

1着ご購入クーポン

レディース ボトムス 20%OFF

6,000円 (税込6,600円)以上の品

【値下げ前価格より割引】

上記、クーポン
ご利用後価格から
上記クーポン
または下取りと併用できる!

さらに お買い上げ 総額より 10%OFF

●他の総額割引との併用はご容赦願います。

○本広告は2026年3月中旬に制作しております。○ご優待割引10%OFFは本クーポンまたはAOKI発行のチラシ・クーポン・下取りセール・セットセールとの併用が可能です。金のスーツ・金のコート・49,900円(税込54,890円)以上のパーソナルオーダーは20%OFFとなります。○補正代・宅配代は対象外となります。○土日祝限定商品や数量限定商品など特別セール・一部ブランド・レンタルサービス・サイズマックスカタログ商品及びサイズマックスカジュアルへのご利用はご容赦願います。○本状をお持ちでない場合やお買い上げ済みの商品は割引いたしかねます。○オンラインショップを除くAOKI全店でご利用いただけます。

店舗で使える
クーポンをダウンロード

右の二次元コードまたは下記URLからアクセス
<https://www.aoki-style.com/special/houjin/kyuryokai.jp>



お部屋
快適ウェアの
新作登場!

着て休むだけで疲労回復をサポート!

リカバリーケアプラスシリーズ

長袖 男女兼用 自9,082円(税込9,990円)の品
上下セットで 本紙をご提示で

10%OFF 8,173円 (税込8,990円)



ギフトにもオススメです!
疲労回復を毎日の習慣に!

新色登場!

- New グレー
- ネイビー
- ブラック

一般的名称:家庭用遠赤外線血行促進用衣 販売名:RECOVERY CARE+ リカバリーケアプラス 医療機器製造販売届出番号:プレーティング素材:1381X10360000029・1381X10360000062 製造販売業者:ファーストメジカル株式会社 〒166-0002 東京都杉並区高円寺北2-3-15オフィスA1201 ○クーポン・割引特典・下取りセール・セットセールのご利用はご容赦願います。

気軽に
お買得情報を
ゲット!!

AOKI LINE公式アカウント
友だち追加で情報ゲット!
メルマガ配信!!
mag.aoki-style.com



AOKIの最新情報や
お問い合わせは
ホームページへ

AOKI 検索

お客様相談窓口は
こちらから!



お近くのお店は
スマホで検索!



あなたのスタイリスト

